

琉球大学学術リポジトリ

ノート : French II

メタデータ	言語: 出版者: 公開日: 2018-04-16 キーワード (Ja): 矢内原忠雄, スミス / 帝国主義 キーワード (En): Yanaihara Tadao 作成者: 矢内原, 忠雄 メールアドレス: 所属:
URL	http://hdl.handle.net/20.500.12000/38464

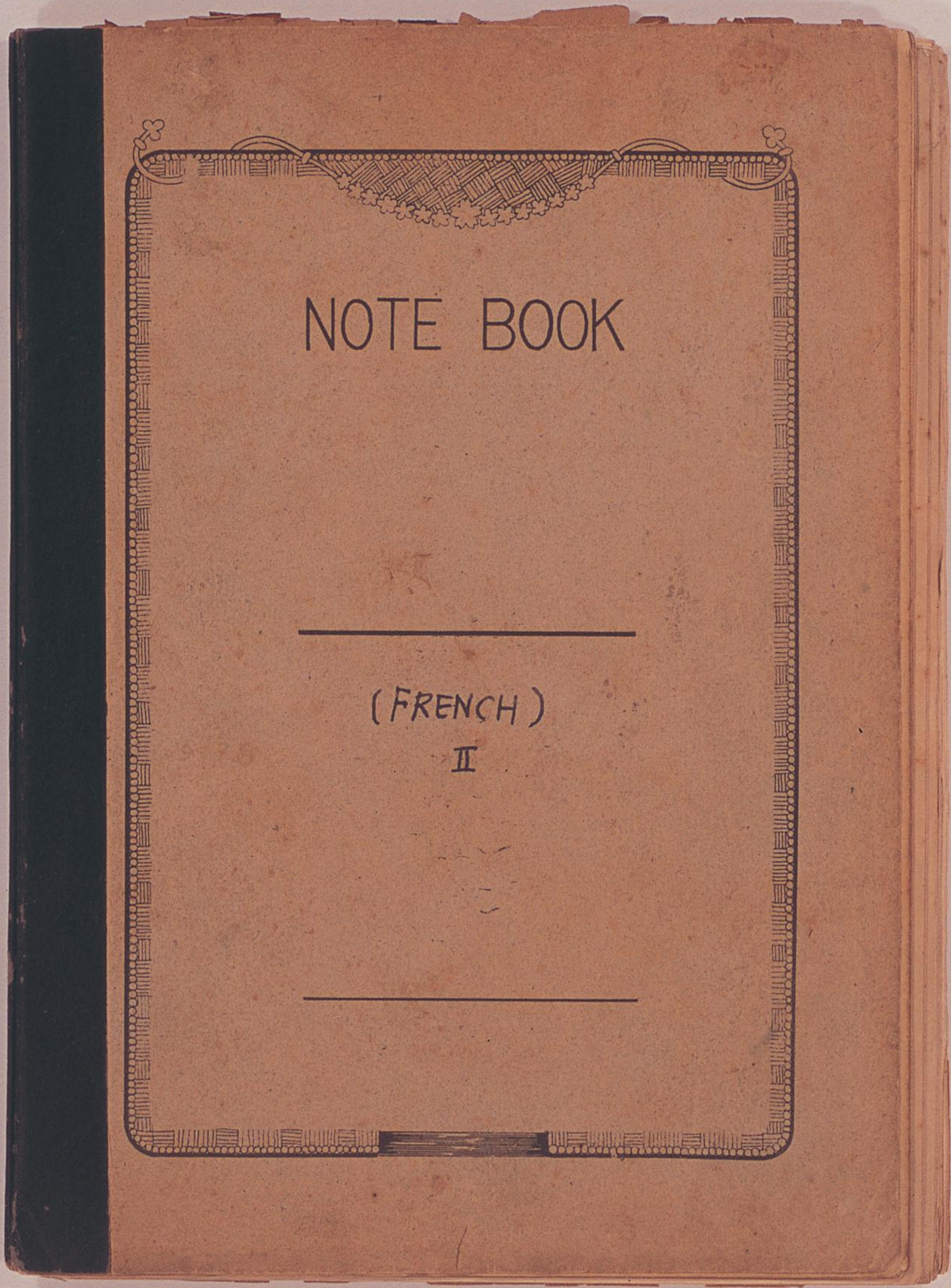
矢内原忠雄文庫

史料名	French II
封筒番号	576
原文所蔵者	琉球大学附属図書館
撮影年月日	平成 17 年 11 月 25 日
撮影者	富士写真フイルム 株式会社
備考	

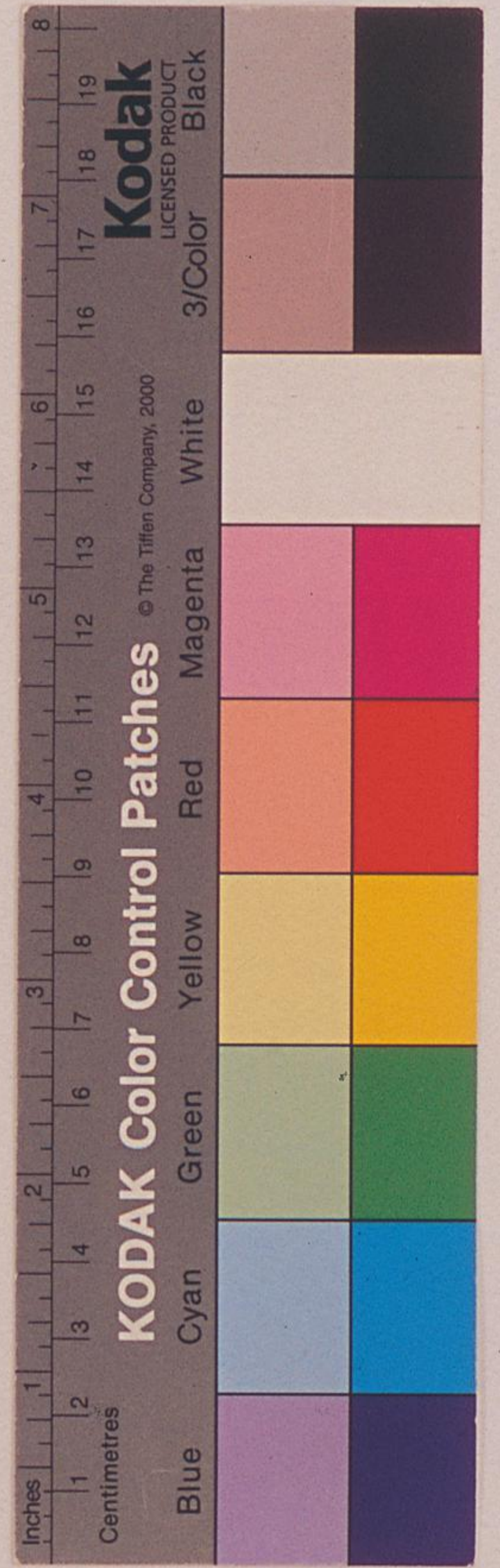
矢内原忠雄文庫

封筒番号 : 576

史料名	French II
資料形態	B5版ノート
枚数	32+15+14
頁数	108
縦 (cm)	25.7
横 (cm)	18.2
厚さ (cm)	
書誌的事項	スミス / 帝国主義 矢内原氏が仏語書籍の扉を書写し、邦訳をしたノート。 今泉分類記号 : Y



0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 70 1 2 3 4 5 6 7 8 9 8 1 / 12



139 80/639 Jeneron
112 80/640 Ruchat
95 90/322 Molière
76 90/329 Fosse
77 90/362 Lally < 29 Bussey
79 80/638 Vasson
106 90/350 Rabelais

(5/2) Veneroni, Sieur de. dans sa
80/639 Le Maître italien, dans la dernière
perfection. nouvelle ed. Amsterdam,
Henri du Sauret, 1740. 16°

LE MAITRE

ITALIEN,

DANS SA DERNIERE PERFECTION,

✓ Révisé, corrigé & augmenté par
l'auteur;

CONTENANT

✓ Tout ce qui est nécessaire pour apprendre
facilement & en peu de temps la

LANGUE ITALIENNE.

Avec un abrégé de la Prononciation Française
pour les Etrangers, un DICTIONNAIRE, pour
les deux Langues, & quelques Lettres
à la fin.

Par le Sieur DE VENERONI, Secrétaire Interprète
du Roi dans la Langue Italienne.

NOUVELLE EDITION,

Exactement corrigée & augmentée.

カト

A AMSTERDAM,

Chez HENRI DU SAUJET

M. DEC. XL.

Bonar, P. 190. Veneroni (Sieur de).
dernière édition. nouv.

皇太子殿下の御序

ジョバンニ・ヴェネロニ

譯者は

1731年版の序詞

ラテン語を知らない人のためのイタリア語入門

イタリア語の略語

メルカントリの書翰

80/639 Veneroni, Sieur de. ^{sa}
Le Maître Italien, dans ~~la~~ dernière
perfection. nouvelle ed. Amsterdam,
Henri du Sauzet, 1740. 16°

LE MAITRE

ITALIEN,

DANS SA DERNIERE PERFECTION,

✓ Revue, corrigé & augmenté par

l'auteur;

CONTENANT

Tout ce qui est nécessaire pour apprendre

✓ facilement & en peu de temps la

LANGUE ITALIENNE. ^{Temps}

Avec un abrégé de la Prononciation Française
pour les Etrangers, un DICTIONAIRE, pour
les deux langues, & quelques lettres
à la fin.

Par le Sieur DE VENERONI, Secrétaire & Interprète
du Roi dans la langue Italienne.

NOUVELLE EDITION,

Exactement corrigée & augmentée.

— — —

A AMSTERDAM,

Chez HENRI DU SAUZET

M. DCC. XL.

Bonar, P. 190. Veneroni (Sieur de).

Le Maître Italien dans la dernière perfection. nouv.
ed. 1 vol. Small 8vo, calf. Amster., 1740.

Dedication.

A Monseigneur le Dauphin.

Giovani Veneroni.

Au Lecteur.

Avertissement de l'Édition de 1731.

Introduction à la langue Italienne pour ceux qui
ne savent pas le Latin.

Le Maître Italien

lettre Mercantile

皇太子殿下への献辞

ジョバンニ、グエネロニ

読者には

1731年版の序詞

ラテン語を知らない人のためのイタリヤ語入門

イタリヤ語の綴り

メルカンテリの書翰

挿入文書

わは
完全なるイタリヤ語の辞書

若者による改訂増補

内容

容易に且短期間にイタリヤ語を
習得するに必要なる一冊也

附 外人の或るべき語彙音要約
= 口語的辞典、最後に若干の音節

五冊イタリヤ語能決定

テ・ウエネロ= 版者

新版

的確な補正増補
訂

アマステルガム

アエリ・テュ・ソーゼ社

1740年

挿入文書

80/640 Ruchat, Abraham.
Histoire de la réformation de la
Suisse. Tom. 1-6. Geneve, Marc-
Michel Bousquet et Comp.
1727-28. 6v. 16°

HISTOIRE
DE LA
RÉFORMATION
DE LA
SUISSE,

Où l'on voit tout ce qui s'est passé de plus
remarquable, depuis l'An 1516. jusqu'en
l'An 1556., dans les Eglises des XIII.
CANTONS, & des ETATS CONFEDERES,
qui composent avec eux le LI. CORPS
HELVETIQUE.

Par ABRAHAM RUCHAT, M. D. S. T.
& PROFESSEUR en Belles Lettres dans
l'Académie de LAUSANNE.

- TOME PREMIER
- " SECOND
- " TROISIÈME
- " QUATRIÈME
- " CINQUIÈME
- " SIXIÈME

カット

A. GENEVE,
Chez MARC-MICHEL BOUSQUET ET COMP.
M DCC XXVII 1727
(M DCC XXVIII 3巻~6巻)

Bonar, 7. 161. Ruchat (Abraham)

邦文

カ一巻 邦文
カ二巻 邦文
カ三巻 邦文
カ四巻 邦文
カ五巻 邦文
カ六巻 邦文
カ七巻 邦文
カ八巻 邦文
カ九巻 邦文
カ十巻 邦文
カ十一巻 邦文
カ十二巻 邦文
カ十三巻 邦文
カ十四巻 邦文
カ十五巻 邦文
カ十六巻 邦文
カ十七巻 邦文
カ十八巻 邦文
カ十九巻 邦文
カ二十巻 邦文
カ二十一巻 邦文
カ二十二巻 邦文
カ二十三巻 邦文
カ二十四巻 邦文
カ二十五巻 邦文
カ二十六巻 邦文
カ二十七巻 邦文
カ二十八巻 邦文
カ二十九巻 邦文
カ三十巻 邦文
カ三十一巻 邦文
カ三十二巻 邦文
カ三十三巻 邦文
カ三十四巻 邦文
カ三十五巻 邦文
カ三十六巻 邦文
カ三十七巻 邦文
カ三十八巻 邦文
カ三十九巻 邦文
カ四十巻 邦文
カ四十一巻 邦文
カ四十二巻 邦文
カ四十三巻 邦文
カ四十四巻 邦文
カ四十五巻 邦文
カ四十六巻 邦文
カ四十七巻 邦文
カ四十八巻 邦文
カ四十九巻 邦文
カ五十巻 邦文
カ五十一巻 邦文
カ五十二巻 邦文
カ五十三巻 邦文
カ五十四巻 邦文
カ五十五巻 邦文
カ五十六巻 邦文
カ五十七巻 邦文
カ五十八巻 邦文
カ五十九巻 邦文
カ六十巻 邦文
カ六十一巻 邦文
カ六十二巻 邦文
カ六十三巻 邦文
カ六十四巻 邦文
カ六十五巻 邦文
カ六十六巻 邦文
カ六十七巻 邦文
カ六十八巻 邦文
カ六十九巻 邦文
カ七十巻 邦文
カ七十一巻 邦文
カ七十二巻 邦文
カ七十三巻 邦文
カ七十四巻 邦文
カ七十五巻 邦文
カ七十六巻 邦文
カ七十七巻 邦文
カ七十八巻 邦文
カ七十九巻 邦文
カ八十巻 邦文
カ八十一巻 邦文
カ八十二巻 邦文
カ八十三巻 邦文
カ八十四巻 邦文
カ八十五巻 邦文
カ八十六巻 邦文
カ八十七巻 邦文
カ八十八巻 邦文
カ八十九巻 邦文
カ九十巻 邦文
カ九十一巻 邦文
カ九十二巻 邦文
カ九十三巻 邦文
カ九十四巻 邦文
カ九十五巻 邦文
カ九十六巻 邦文
カ九十七巻 邦文
カ九十八巻 邦文
カ九十九巻 邦文
カ百巻 邦文

1727年 8月15日

邦文
宗教改革の必要論を証明するに、16世紀
初めのスイスの教会の状態に関する前書。

カ一巻 要約
1516年より1522年まで
スイスの宗教改革の歴史

カ二巻 一カ三巻
カ四巻 邦文
カ五巻 邦文
カ六巻 邦文
カ七巻 邦文
カ八巻 邦文
カ九巻 邦文
カ十巻 邦文
カ十一巻 邦文
カ十二巻 邦文
カ十三巻 邦文
カ十四巻 邦文
カ十五巻 邦文
カ十六巻 邦文
カ十七巻 邦文
カ十八巻 邦文
カ十九巻 邦文
カ二十巻 邦文
カ二十一巻 邦文
カ二十二巻 邦文
カ二十三巻 邦文
カ二十四巻 邦文
カ二十五巻 邦文
カ二十六巻 邦文
カ二十七巻 邦文
カ二十八巻 邦文
カ二十九巻 邦文
カ三十巻 邦文
カ三十一巻 邦文
カ三十二巻 邦文
カ三十三巻 邦文
カ三十四巻 邦文
カ三十五巻 邦文
カ三十六巻 邦文
カ三十七巻 邦文
カ三十八巻 邦文
カ三十九巻 邦文
カ四十巻 邦文
カ四十一巻 邦文
カ四十二巻 邦文
カ四十三巻 邦文
カ四十四巻 邦文
カ四十五巻 邦文
カ四十六巻 邦文
カ四十七巻 邦文
カ四十八巻 邦文
カ四十九巻 邦文
カ五十巻 邦文
カ五十一巻 邦文
カ五十二巻 邦文
カ五十三巻 邦文
カ五十四巻 邦文
カ五十五巻 邦文
カ五十六巻 邦文
カ五十七巻 邦文
カ五十八巻 邦文
カ五十九巻 邦文
カ六十巻 邦文
カ六十一巻 邦文
カ六十二巻 邦文
カ六十三巻 邦文
カ六十四巻 邦文
カ六十五巻 邦文
カ六十六巻 邦文
カ六十七巻 邦文
カ六十八巻 邦文
カ六十九巻 邦文
カ七十巻 邦文
カ七十一巻 邦文
カ七十二巻 邦文
カ七十三巻 邦文
カ七十四巻 邦文
カ七十五巻 邦文
カ七十六巻 邦文
カ七十七巻 邦文
カ七十八巻 邦文
カ七十九巻 邦文
カ八十巻 邦文
カ八十一巻 邦文
カ八十二巻 邦文
カ八十三巻 邦文
カ八十四巻 邦文
カ八十五巻 邦文
カ八十六巻 邦文
カ八十七巻 邦文
カ八十八巻 邦文
カ八十九巻 邦文
カ九十巻 邦文
カ九十一巻 邦文
カ九十二巻 邦文
カ九十三巻 邦文
カ九十四巻 邦文
カ九十五巻 邦文
カ九十六巻 邦文
カ九十七巻 邦文
カ九十八巻 邦文
カ九十九巻 邦文
カ百巻 邦文

80/640 Ruchat, Abraham.
Histoire de la réformation de la Suisse. Tom. 1-6. Genève, Marc-michel Bousquet et Comp., 1727-28. 6v. 16°

HISTOIRE
DE LA
RÉFORMATION
DE LA
SUISSE,

Où l'on voit tout ce qui s'est passé de plus remarquable, depuis l'An 1516. jusqu'en l'An 1556., dans les Eglises des XIII. CANTONS, & des ETATS CONFEDERES, qui composent avec eux le L. CORPS HELVÉTIQUE.

Par ABRAHAM RUCHAT, M. D. S. T.
& PROFESSEUR en Belles Lettres dans l'Académie de LAUSANNE.

TOME PREMIER
" SECOND
" TROISIÈME
" QUATRIÈME
" CINQUIÈME
" SIXIÈME

カト

A GENEVE,
Chez MARC-MICHEL BOUSQUET ET COMP.
M DCC XXVII 1626
(M DCC XXVIII 376-676)

Bonar. p. 161. Ruchat (Abraham).
Histoire de la Réformation de la Suisse. 6 vols. Small 8vo. calf. Genève, 1728.
Lectures 1763, ed. Cannan, p. 54: "The Dutch and Swiss republics are formed into a respublica foederata, and on this depends their strength."
cf. Edinr. Rev. 1785, July (end of Letter), II. 78.
The passage in the W. of N. most likely to be indebted to Ruchat's book is in Book V, ch. 1. Part II. Art. III. (Instruction of all Ages), 362. 2 (Cannan, ii. 391). (See Rae 328) In the Japanese list the name is entered as buchhat.

quoted in "Lectures", "Edinr. Rev." & "W. of N." of People

Tom. 1.

ÉPI TRE DEDICATOIRE

Aux illustres, hauts, puissans et souverains Seigneurs, leurs Excellences mes Seigneurs les Avoyers, Thesoriers Banderets et Conseillers, de la florissante République de Berne.
Abraham Ruchat.

A Lausanne ce 15. d'Aout 1727

Preface

Discours Préliminaire sur l'état où se trouvoient les Eglises de la Suisse, au commencement du XVI^{me}. Siècle, pour servir à démontrer la Nécessité de la Réformation.

Sommaire du Livre Premier.

depuis l'An MDXVI. jusques vers la fin de l'An MDXXII.

Histoire de la Réformation de la Suisse.

Livre I - III.

Recueil de Pièces justificatives. Pour le Tome Premier.

第一卷 第二巻

オ一巻 第一巻
オ二巻 第二巻
オ三巻 第三巻
オ四巻 第四巻
オ五巻 第五巻
オ六巻 第六巻
オ七巻 第七巻
オ八巻 第八巻
オ九巻 第九巻
オ十巻 第十巻
オ十一巻 第十一巻
オ十二巻 第十二巻
オ十三巻 第十三巻
オ十四巻 第十四巻
オ十五巻 第十五巻
オ十六巻 第十六巻
オ十七巻 第十七巻
オ十八巻 第十八巻
オ十九巻 第十九巻
オ二十巻 第二十巻
オ二十一巻 第二十一巻
オ二十二巻 第二十二巻
オ二十三巻 第二十三巻
オ二十四巻 第二十四巻
オ二十五巻 第二十五巻
オ二十六巻 第二十六巻
オ二十七巻 第二十七巻
オ二十八巻 第二十八巻
オ二十九巻 第二十九巻
オ三十巻 第三十巻
オ三十一巻 第三十一巻
オ三十二巻 第三十二巻
オ三十三巻 第三十三巻
オ三十四巻 第三十四巻
オ三十五巻 第三十五巻
オ三十六巻 第三十六巻
オ三十七巻 第三十七巻
オ三十八巻 第三十八巻
オ三十九巻 第三十九巻
オ四十巻 第四十巻
オ四十一巻 第四十一巻
オ四十二巻 第四十二巻
オ四十三巻 第四十三巻
オ四十四巻 第四十四巻
オ四十五巻 第四十五巻
オ四十六巻 第四十六巻
オ四十七巻 第四十七巻
オ四十八巻 第四十八巻
オ四十九巻 第四十九巻
オ五十巻 第五十巻
オ五十一巻 第五十一巻
オ五十二巻 第五十二巻
オ五十三巻 第五十三巻
オ五十四巻 第五十四巻
オ五十五巻 第五十五巻
オ五十六巻 第五十六巻
オ五十七巻 第五十七巻
オ五十八巻 第五十八巻
オ五十九巻 第五十九巻
オ六十巻 第六十巻
オ六十一巻 第六十一巻
オ六十二巻 第六十二巻
オ六十三巻 第六十三巻
オ六十四巻 第六十四巻
オ六十五巻 第六十五巻
オ六十六巻 第六十六巻
オ六十七巻 第六十七巻
オ六十八巻 第六十八巻
オ六十九巻 第六十九巻
オ七十巻 第七十巻
オ七十一巻 第七十一巻
オ七十二巻 第七十二巻
オ七十三巻 第七十三巻
オ七十四巻 第七十四巻
オ七十五巻 第七十五巻
オ七十六巻 第七十六巻
オ七十七巻 第七十七巻
オ七十八巻 第七十八巻
オ七十九巻 第七十九巻
オ八十巻 第八十巻
オ八十一巻 第八十一巻
オ八十二巻 第八十二巻
オ八十三巻 第八十三巻
オ八十四巻 第八十四巻
オ八十五巻 第八十五巻
オ八十六巻 第八十六巻
オ八十七巻 第八十七巻
オ八十八巻 第八十八巻
オ八十九巻 第八十九巻
オ九十巻 第九十巻
オ九十一巻 第九十一巻
オ九十二巻 第九十二巻
オ九十三巻 第九十三巻
オ九十四巻 第九十四巻
オ九十五巻 第九十五巻
オ九十六巻 第九十六巻
オ九十七巻 第九十七巻
オ九十八巻 第九十八巻
オ九十九巻 第九十九巻
オ百巻 第一百巻

ロ-4-29. 1727年 8月15日.
序文
宗教改革の必要の必然性を証明するに、16世紀
初めのスイスの教会の状態に関する前書。
オ一巻の要約。
1516年から1522年までの
スイスの宗教改革の歴史。
オ一巻一オ三巻
オ一巻の追加資料集

挿入文書

スイス宗教改革の歴史

1516年刊 1556年に到るまでに
の序論に起つたことは注目すべきことである。
と構成するからBw
エターニエティレ。
これらエルツァン連合州に構成を連邦の

アブラム・ルシャ著 M.D.S.E.
ローザニヌ大学の文学部教授

第一巻

第二巻

第三巻

第四巻

第五巻

第六巻

第七巻

マルコ・ミシエル・アスケ・エ・コシニ

1727年 1巻-2巻
(1728年 3巻-6巻)

挿入文書

(Tome I)

Livre Premier. Contenant ce qui s'est passé depuis l'An MDXVI jusqu'à l'An MDXXII.

" Second. Qui contient ce qui s'est passé depuis la fin de l'An MDXXII. jusqu'à la Réformation de ZURICH consommée. L'An MDXXV.

" Troisième. Qui contient ce qui s'est passé dans la Suisse depuis la Réformation de ZURICH, jusqu'à la Dispute de BERNE.

(Tome II)

" Quatrième. Qui comprend la Dispute & la Réformation de BERNE.

" Cinquième. Qui comprend la Suite de la Réformation de BERNE, & divers autres événements de l'année 1528.

" Sixième. Qui contient entr'autres chose. la Réformation de BALE & de SCHAFFHOUSE; les premiers mouvements de Guerre de Religion, & la Paix qui les suivit.

(Tome III)

" Septième. Qui comprend les événements d'une partie de l'An 1529. & ceux de l'An 1530, & en particulier la Réformation de MORAT & de NEUCHATEL.

" Huitième. Qui contient ce qui s'est passé dans la Suisse Allemande, l'An MDXXXI.

(Tome IV)

" Neuvième. Qui contient ce qui est arrivé dans la SUISSE ROMANDE, l'An MDXXXI.

" Dixième. Qui comprend le SYNODE DE BERNE, les autres principaux Événemens de l'An MDXXXII. & quelques uns des deux années suivantes.

オ一輯

オ一巻 1516年より1522年までの起つたことを含む。

オ二巻 1522年の終りより ツエリッヒの宗教改革 による起つたことを含む。1525年に成就された。

オ三巻 ツエリッヒの宗教改革よりベルヌの論争のいたるまで スワイスに起つたことを含む。

オ四輯

オ四巻 ベルヌの論争と宗教改革を含む。

オ五巻 ベルヌの宗教改革の 結果 と 1528年の種々な事件を含む。

オ六巻 ツエリッヒ、バール及び ミッパハウスの宗教改革 と 宗教戦争の最初の運動を含む。
(とこれより平和と)

オ七輯

オ七巻 1527年の一部の事件と 1530年の事件、特にモントノイニヤールの宗教改革を含む。

オ八巻 1531年に スワイス ~~は~~ 起つたこと を含む。
(トワールの)

オ八輯

オ九巻 1531年に ツエリッヒ のスワイスに起つたことを含む。

オ十巻 ベルヌの長老会派及び 1522年の種々な事件とその後の二年間の事件を含む。

(Tome I.)

Livre Premier. Contenant ce qui s'est passé depuis l'An MDXVI jusqu'à l'An MDXXII.

" Second. Qui contient ce qui s'est passé depuis la fin de l'An MDXXII. jusqu'à la Réformation de ZURICH, consommée l'An MDXXV.

" Troisième. Qui contient ce qui s'est passé dans la Suisse depuis la Réformation de ZURICH, jusqu'à la Dispute de BERNE.

(Tome II.)

" Quatrième. Qui comprend la Dispute & la Réformation de BERNE.

" Cinquième. Qui comprend la Suite de la Réformation de BERNE, & divers autres événements de l'année 1528.

" Sixième. Qui contient entr'autres chose. la Réformation de BALE & de SCHAFFHOUSE; les premiers mouvements de Guerre de Religion, & la Paix qui les suivit.

(Tome III.)

" Septième. Qui comprend les événements d'une partie de l'An 1529. & ceux de l'An 1530, & en particulier la Réformation de MORAT & de NEUCHATEL.

" Huitième. Qui contient ce qui s'est passé dans la Suisse Allemande, l'An MDXXXI.

(Tome IV.)

" Neuvième. Qui contient ce qui est arrivé dans la Suisse ROMANDE, l'An MDXXXI.

" Dixième. Qui comprend le SYNODE DE BERNE, les autres principaux Evénemens de l'An MDXXXII. & quelques uns des deux années suivantes.

Le livre n° 111 = "Sommaire" n° 11.

Le Tome n° 111 = "Recueil de Pièces justificatives" n° 11.

Tome VI.

Recueil de Pièces justes. pour le Tome Sixième n° 111.

Histoire des Dominicains de Berne, qui y furent brûlés l'An 1509. par Arrêt, pour Crimes d'Imposture & de Sortilège.

Table des Matières.

- オ一輯
- オ一巻 1516年より1522年までの起つたことを含む
- オ二巻 1522年の終りのチューリッヒの宗教改革にまで起つたことを含む。1525年に成就された
- オ三巻 チューリッヒの宗教改革よりベルヌの論争のいたるまでスイスは起つたことを含む
- オ四輯
- オ四巻 ベルヌの論争と宗教改革を含む
- オ五巻 ベルヌの宗教改革の結果と1528年の重要な事件を含む
- オ六巻 ~~オ六巻~~ ^{オ六巻} ベルヌ及びニッパハウスの宗教改革と宗教改革の最初の運動を含む (とそれ以後の平和と)
- オ七輯
- オ七巻 1527年の一部の事件と1530年の事件、特にモントノイニヤールの宗教改革を含む
- オ八巻 1531年にスイス ~~は~~ ^は ~~起つた~~ ^{起つた} ことを含む
- オ九輯
- オ九巻 1531年に ~~57~~ ⁵⁷ 年のスイスに起つたことを含む
- オ十巻 ベルヌの長老会派及び1522年の重要な事件とその後の二年間の事件を含む

各巻の初めに "要約" あり。

各巻の終りに "註明書集" あり。

才六輯

証書類
証書類

才六巻の註明書集の序文。

1507年に今令の22倍満喫の罪ありとて裁判せしむ

たき^てお^のち^は3のベルヌのドミ^ニカ^の皮

内容目録

1507

序文

挿入文書

(Tome V)

Livre Onzième. Qui contient les Principaux Evénemens des années 1533. & 1534

" Douzième. Qui contient entre autres choses la REFORMATION DE GENEVE, en MDXXXV.

" Treizième. Qui contient entre autres la Révolution du PAYS DE VAUD.

Quatorzième. (秋)

(Tome VI) " Quinzième. Qui contient les Actes abrégés de la DISPUTE de LAUSANNE.

" Seizième. Qui contient particulièrement la Réformation du Pays Romand de BERNE.

オ五輯

オ一巻 1533年及1534年の重要な事件を合む

オ二巻 1535年のジネーヴの宗教改革を合む

オ三巻 ヴォー地方の革命を合む

オ四巻 特

オ六輯

オ二巻 ローザヌの争い ⁽¹⁵¹⁷⁾ 重要な出来事 ^の 歴史を合む

オ六巻 ヴィルスのロー地方 ^の 特異な出来事 ^の 歴史を合む



90/322
Molière.
Oeuvres de Molière. Nouvelle ed. Tomes.
Par. Damonville, Quai des Augustins,
à Saint Etienne, 1749. 16°

Titel-page
ŒUVRES
DE
MOLIERE.
NOUVELLE EDITION.
TOME HUITIÈME.

À PARIS,
Chez DAMONVILLE, Quai des Augustins,
à Saint Etienne
M. DCC. XLIX.
avec Approbation & Privilège du Roi.

next page

TABLE
DES PIÈCES CONTENUES
en ce huitième tome.
LA COMTESSE D'ESCARBAGNAS.
LE MALADE IMAGINAIRE,
comédie-ballet.
REMERCIEMENT AU ROI.
LA GLOIRE DU VAL-DE-GRACE.
EXTRAITS de divers Auteurs.
RECUEIL de plusieurs pièces en vers.

Bonar. P. 118. Molière (Jean Baptiste Poquelin). C4J
Oeuvres. New ed. 1 vol. only. Paris; 1725.

モリエールの作品集

新版
オハ巻

ハオリ.
オオボスタン岸のクモニウイル #4 扉
聖エドワードの日記
1749年.
□王の認可と権限を保持する

このオハ巻に含められている戯曲の目録.
エスカルゴニエス公爵夫人.

気病む男 (コメディ・バール)

□王への謝辞

ウイルドグラスの巻

各種の作家の抜粋.
細い戯劇集.
韻文

90/329 Fosse, de la.
Les œuvres de Monsieur de la Fosse.
Nouvelle éd. Tome 2. Par., Compagnie
des Libraires Associés, 1747. 16°

(Title-page) ŒUVRES (Tome II, only)

DE MONSIEUR
DE LA FOSSE,
NOUVELLE EDITION,
Revue corrigée & augmentée de ses Poésies
diverses.

TOME SECOND

À PARIS,
Par la Compagnie des Libraires Associés,
M. DCC. XLVII.
avec Approbation & Privilège du Roy.

TABLE

Des Pièces contenues dans le second
Volume.

CORESUS & CALIRRHOE.
ODES D'ANACRE'ON.
POESIES DE M. D. L. F.

Bonar, p. 70. Fosse (Antoine de la).
Œuvres [7 volumes] 1747. 16° small 8vo

ド・ラ・ホス^の作品集

新版

改訂 並に11冊の詩作を増補

オ = 輯

ハオリ

~~ド・ラ・ホス~~ ティ. グラール. プリニエ 編

1747年

~~ド・ラ・ホス~~ の詩作
口王の12冊と増補を併有

オ = 輯の合める 作品目録

ユレオニスヒカリロエ
アナルオニのオ増補小詩
M. D. L. F. の詩

90/329 Fosse, de la.
Les œuvres de Monsieur de la Fosse.
nouvelle éd. Tome 2. Par, Compagnie
des Libraires Associés, 1747. 16°

(Title-page) ŒUVRES (Tome II, only)

DE MONSIEUR
DE LA FOSSE,
NOUVELLE EDITION,

Revue corrigée & augmentée de ses Poésies
diverses.

TOME SECOND

A PARIS,
Par la Compagnie des Libraires Associés,
M. DCC. XLVII.
avec Approbation & Privilège du Roy.

TABLE

Des Pièces contenues dans le second
Volume.

- CORESUS & CALIRRHOE.
- ODES D'ANACREON.
- POESIES DE M.D.L.F.

Bonar, p. 70. Fosse (Antoine de la).
Œuvres [Tragedies.] Vol. ii. only. Small 8vo,
calf. Paris, 1747.

Coreus et Calirrhoe, Tragedie. Représentée pour
la première fois en 1703.
Les Odes d'Anacreon.
Poésies de M.D.L.F.

What is this?
Who is la Fosse?

ド・ラ・ホス^の作品集

新版

改訂 並に彼の詩作の増補

才 = 輯

ハオリ

~~ド・ラ・ホス~~ ~~の~~ ~~作品集~~ ~~の~~ ~~改訂~~ ~~並に~~ ~~彼の~~ ~~詩作~~ ~~の~~ ~~増補~~
ド・ラ・ホス ^の アグレル・アソエ 編

1747年

~~ド・ラ・ホス~~ ~~の~~ ~~作品集~~

口王の忍るは瑠椎を断有
(カ) (カ)

才 = 輯 ^の 合める 作品月録

ユレヨニスとカリロエ

アナクレオンのオナク小詩

M. D. L. F の 詩

挿入文書

エレノスヒカリロエ 悲劇

1703年に初演

アタクレオンの抒情小詩

M. D. L. F. の詩

挿入文書

(315/00)

90
382
472

Mémoire pour le Comte de Lally.

Par., de l'Imprimerie de Guillaume Desprez, 1766. 4°.

Bound in one volume with "Mémoire a consulter et
consultation pour le Sieur de Bussy."

MÉMOIRE

P O U R

LE COMTE DE LALLY,

Lieutenant-Général des Armées du Roi,
Grand-Croix de l'Ordre Royal & Militaire
de Saint-Louis, ci-devant. Colonel d'un
Régiment Irlandois de son nom, Com-
missaire du Roi & Commandant en Chef
dans l'Inde.

CONTRE Monsieur le Procureur-Général.

A PARIS,

De l'Imprimerie de GUILLAUME DESPREZ,
Imprimeur du Roi & du Clergé de France.

M. DCC. LXVI

(315/00)
90
362
佐藤

Mémoire pour le Comte de Lally.
Par., de l'Imprimerie de Guillaume Desprez, 1766. 4°.

Bonne in one volume with "Mémoire a consulter et
consultation pour le Sieur de Bussy."

MÉMOIRE

POUR
LE COMTE DE LALLY,

Lieutenant-Général des Armées du Roi,
Grand-Croix de l'Ordre Royal & Militaire
de Saint-Louis, ci-devant. Colonel d'un
Régiment Irlandois de son nom, Com-
missaire du Roi & Commandant en Chef
dans l'Inde.

CONTRE Monsieur le Procureur-Général.

A PARIS,

De l'Imprimerie de GUILLAUME DESPREZ,
Imprimeur du Roi & du Clergé de France.

M. DCC. LXVI

Bonar, P. 99. ^{4P. 113.} Lally (Comte de).
Mémoires. 1 vol. 4 to, quarter leather. Paris, 1764.
[Irish Jacobite and French General, India, executed
1760.] Cf. p. 113. 背革素紙紙装

Bonar... P. 99. Lally... C. > 別々に出る紙. 半号里心.
P. 113. Mémoires... J.

Bonar, p. 113. Mémoire
pour le Comte de Lally. 1 vol. 4 to. Paris
[Imprimerie de Guillaume Desprez], 1766.

fly-leaf: 次の書入心. 之は Adam Smith の自筆と思はれる.

Mémoire pour M^r de Lally. フリ-原紙の裏書
pour M^r de Bussy. 此はコソの原紙の裏書

各紙次の裏の上部に h. t. + 1
Mémoire pour de Bussy の title-page の上部に h. t. + 2. の書入あり. 之は上記
と同一筆蹟なり. 此はコソの符号か?

Mémoire pour le Comte de Lally フリ-原紙の裏書の裏書
Pièces Justificatives. 諸書類

MÉMOIRE

A consulter
Et Consultation,

Pour le Sieur de Bussy,
Maréchal des Camps & Armées du Roy,
au sujet du Mémoire que le Sieur de Lally,
Lieutenant Général, vient de répandre dans
le Public.

Avec les Lettres que les Sieurs de Bussy & de
Lally se sont écrites dans l'Inde, pour servir
de Pièces Justificatives.

A Paris,
de l'Imprimerie de Michel Lambert,
au Collège de Bourgogne, rue des Cordeliers.
M. DCC. LXVI.

挿入文書

(77)

スミス文庫

Lally, Thomas Arthur, Baron de Tolendal, comte de. 73. *Bonnaz, P. 133.*
1702-1766.

Mémoire pour le comte de Lally, ... Contre messieur
le Procureur-général. Paris, De l'imprimerie de
G. Desprez, 1766.

ラリ一伯, 「検事總長閣下に付す」ラリ一伯の

為めの寛書, パリ, 1766年.

本書と共に "Mémoire a consulter et consultation

, pour le sieur de Bussy. パリ, 1766年." が合

本になつてゐる。本書の見返し (fly-leaf) に次

の書き入りがある。

Mémoire pour Mr de Lally.

----- pour Mr de Bussy.

なほ次の頁の上部に

A. S. + 1

の記入があり, "Mémoire pour de Bussy" の扉

の裏面に

A. S. + 2

の記入があり、之らの記入はいづれも同一筆蹟

であつて、或ひはアダム・スミスの自筆かと思

はれる筆蹟である。

ラリ一伯はインドにおけるフランス陸軍の司

16x20=320

東京大学経済学部

挿入文書

Bussy Tisic 脱寫

(29)

スミス文庫

Bussy-Castelnau, Charles Joseph Patissier, Marquis de, 1718-1785.	Bonard, フシ
Mémoire a consulter et consultation, pour le sieur de Bussy... au sujet du Mémoire que le sieur de Lally, Lieutenant Général, vient de répandre dans le public. Avec les lettres que les sieurs de Bussy & de Lally se sont écrites dans l'Inde, pour servir de pièces justificatives. Paris, M. Lambert, 1766.	
ビュシイ, 「陸軍中將ラリ一卿が世	同に広めた
覚書の主題について, 元師ビュシ	イ卿の爲め
の参考覚書。証據書類として, ビ	ュシイ, ラ
リ一兩卿が印度で書いた書翰と附	す。」パリ
, 1766年。	
本書は(77) "Mémoire pour le comte de Lally"	
と合本せらへてある。Bonard には別	に掲出され
てみない。	
附録書翰はラリ一が印度に到着後	12日目であ
る1758年5月10日から, ビュシイが	捕虜となつ
てロンドンに護送された爲めイギリ	ス船に葉船
した1760年8月に至る期間に書かへ	たものであ
る。この期間に印度で戦はれた英佛	戦争ににおけ
るフランス軍敗戦の責任に因してビ	ュシイ, ラ
リ一兩將軍の爲になされた詳明の覚	書が, 之ら
二つの mémoires である。	

挿入文書

(139)

スミ ス文庫

	Veneroni, Giovanni, 1642-1708.	Bmaor, P. 190.
	<p>Le maître italien, dans sa dernière perfection, dans sa dernière perfection, revu, corrigé & augmenté par l'auteur; contenant tout ce qui est nécessaire pour apprendre facilement & en peu de tems la langue italienne. Avec un abrégé de la prononciation française pour les étrangers, un dictionnaire ... Par le sieur de Veneroni ... Nouv. ed. ... Amsterdam, H. du Sauzet, 1740.</p>	
ウ	エ	著者
ネ	イ	に
ロ	タ	よ
ニ	リ	著者
イ	タ	に
タ	リ	よ
リ	ヤ	著者
ヤ	語	に
語	の	よ
の	教	著者
教	師	に
師	の	よ
著	者	に
者	の	よ
著	者	に
者	の	よ
著	者	に
者	の	よ
著	者	に
者	の	よ
著	者	に
者	の	よ
著	者	に
者	の	よ
著	者	に
者	の	よ
著	者	に
者	の	よ

16x20=320

東京大学経済学部

挿入文書

(112)

スミス文庫

Bonnet, P. 161

Ruchat, Abraham, 1678-1750.

Histoire de la réformation de la Suisse, où l'on voit tout ce qui s'est passé de plus remarquable, depuis l'an 1516, jusqu'en l'an 1556, dans les églises des XIII. Cantons, & des Etats confédérés, qui composent avec eux le Li. corps helvétique. Par Abraham Ruchat ... Geneve, M.M. Bousquet et comp., 1727-28.

ルシヤ, 「スウイス宗教改革史, 15

16年より

ス聯邦を構

成す了各邦の教会に起つた主要事

件を網羅す

。全六巻。ジュネーヴ, 1727—

1728年。

著者ルシヤはロザンヌ大学の文

学教授。

第一—二巻の発行は1727年, 第三

—六巻の發

行は1728年。

スミスがこの書を参考したと思は

れ了箇處は

「講義」キヤナン版54頁, 「工

学ニバウ評

論, 1755年七月, 「国富論第五編

第一章第二

部第三節」キヤナン版第二巻291頁

。(Bonnet

p. 161. Ral., p. 328. 参照)

—内容。献辞(ベルヌ共和国の……聖

職者に)。

宗教改革の必然性を証明する為め、16世紀初頭のスイス教会の状況に因り前書。

序文。第一巻, 第一書, 要約(各書毎に要約あり)

第

二書, 1516年より1522年迄に起つた

出来事。第

二書, 1522年の終より1525年に至る

事。第

16x20=320

東京大学経済学部

挿入文書

2

スミス文庫

	ヒの宗教改革。第三書、	キユ一リソフ	ヒの宗教改
	革よリベルンの論争迄。第二卷、	第四書、	ベル
	ソの論争と宗教改革。第五書、	ベル	ソの宗教改
	革と1528年の事件。第六書、	バール	及びシヤフ
	ハラスの宗教改革及び宗教戦争の初		期の諸事件
	とその結果として。第三卷、		第七書、
	1529年の一部と1530年の事件、	特に	モラとノイ
	シヤテルの宗教改革。第八書、	1531	年にドイト
	系スイスに起つた事件。第四卷、	第	九書、1531
	年にラテン系スイスに起つた事件。		第十書、
	ベルンの長老会議及び1532年とその後		の二年間の
	事件。第五卷、第十一書、	1533及び	1534年の事
	件。第十二書、1535年のジュネーヴ		の宗教改革
	。第十三書、フオ一地方の革命。第		十四書、
	1536年のジュネーヴの宗教改革。第		十六卷、第十
	五書、ロ一サンヌに於ける論争。第		十六書、
	ベルンのラテン系地方の宗教改革。		各卷末に文
	献を附す。第六卷末にベルンのドミ		ニコ派の厂
	史及び全巻の總索引を附す。		

挿入文書

(95)

スミス交庫

Bombal P. 118

Molière, Jean Baptiste Poquelin, 1622-1673.
Œuvres de Molière, Nouv. ed. Tom. 8. Paris, Damouneville,
1749

モリエール, 『作品集』新版, 第八卷, パリ

, 1749年,

東京大学にあるは第八卷のみである。

第八卷の内容は、エスカルバニヤ

(La Comtesse d'Escarbagnas), 及び病

か男, 其他。

Bombal, P. 118 に本書発行の年と

1725 とせ

るは誤である。

挿入文書

(76)

スミス文庫

	Le Fosse, Antoine de, sieur d'Abbeville, 1653-1708.	Bonnar, P. 70
	Les Œuvres de monsieur de La Fosse. Nouvelle édition, revue, corrigée et augmentée de ses poésies diverses. Paris, Compagnie des libraires associés, 1747.	
	ラ・フォス, 「作品集」, 第二巻,	改訂並びに
	増補新版, パリ, 1747年。	
	東京大学にあるは第二巻のみである。	
	第二巻内容, コレシエス (Corneille)) とカリロ
	エ (Calimaché) (1703年初演の悲劇)), アナク
	レオン (Amacéon) の抒情小詩, M. D. L. F. の詩	(著者自身)

挿入文書

(79)

スミス文庫

	<p>Le Vassor, Michel, 1646-1718. Histoire du regne de Louis XIII, roi de France et de Navarre ... Par Mr. Michel le Vassor. Nouv. ed. Amsterdam, Z. Chatelain, 1752-51.</p>		Bonnaz, P. 190
ル・ヴァソール, ミシェール, 「フアラ		ンス及びナ	
ヴァーールの王ルイ十三世の御代の		「史」, 新	
版及び改訂新版, 十巻, アムステ		ルダム,	
1732—51年。			
本書は十巻より成り、十八冊なり		。第一巻、	
前行諸版より正確に訂正された最新		改訂版、	
1750年。第二巻、二部に分たれ、改		訂新版、	
1751年。第三巻、二部に分たれ、新		版、1733年	
。第四巻、改訂新版、1751年。第五		巻、 ^{二部に分たれ、} 改訂新	
版、1751年。第六巻、二部に分たれ		、新版、	
1734年。第七巻、二部に分たれ、改		訂新版、	
1751年。第八巻、二部に分たれ、改		訂三版、	
1732年。第九巻、二部に分たれ、新		版、1735年	
。第十巻、二部に分たれ、改訂新版		、1751年。	
内容 第一巻、王の未成年期にフ		ランス及び	
ヨーロッパに起つた注目すべきこと		を含む。ド	

挿入文書

スミス文庫

ウツドストツク子爵南^下への書簡、
 ・ル・ウアソール)。序云、此の巻
 五書の概要。ルイ十三世治下の^下の^史
 5書。第二巻、第一部三部会の南^下の^結
 婚にいたる間^にフランス及び^一ロ
 ン最も注目すべきことと含む。序文
 含まれる五書の概要。ルイ十三世治
 6及7書。第二部王の結婚より攝政
 4られるに至る間。ルイ十三世治下
 書より10書。第三巻、第一部ルイ
 の寵愛より宗教戦争開始に至るま^で
 者の序文(新版について)、第三
 含まれる三書の概要。ルイ十三世治
 11書より13書。第二部此の第三巻の
 まれる二書の概要。^{ルイ十三世治下の^史}14書15書。第四
 シエルの会議よりリリエウ^ウ杞機^卿
 間。第四巻に含まれる五書の概要。
 治下の^史、16書より20書。第五巻
 ウ杞機^卿の内^閣の初期ウ^アルト^ウリ
 Valteline)回復のため旧教同盟か^ら

16×20=320

東京大学経済学部

挿入文書

ル攻略に至るまで。第一部ワートルト
 ン卿への書簡。この巻に含まれる五書の概要。
 ルイ十三世治下の厂史、21書より23書、第二部
 枢機卿の内閣の初期。ルイ十三世治
 下の厂史、24書25書。第六卷、王の第一回イタ
 リキエラースク條約に至るまで。第一
 六卷に含まれる五書の概要。ルイ十
 三世治下の厂史、26書27書。第二部
 リュウ。ルイ十三世治下の厂史、28
 書より29書。第七卷、王のロレーヌ
 地方の第一回遠征の概要。ルイ十三
 世治下の厂史、30書。第七卷、王の
 ロレーヌ地方の第一回遠征の概要。ル
 イ十三世治下の厂史、31書より35
 書。第八卷、第一部二王国間の最初
 の戦い。ルイ十三世治下の厂史、36
 書より38書。第九卷、第一部ルイ十
 四世の誕生及び、ルイ十四世の退去
 よりルイ十四世の治世の概要。厂史
 39書40書。第十卷、ルイ十四世の
 治世の概要。厂史41書より45書。第
 十一卷、ルイ十四世の治世の概要。厂
 史46書より50書。第十二卷、ルイ十
 四世の治世の概要。厂史51書より55
 書。第十三卷、ルイ十四世の治世の概
 要。厂史56書より60書。第十四卷、
 ルイ十四世の治世の概要。厂史61書
 より65書。第十五卷、ルイ十四世の治
 世の概要。厂史66書より70書。第十
 六卷、ルイ十四世の治世の概要。厂史
 71書より75書。第十七卷、ルイ十四
 世の治世の概要。厂史76書より80書。
 第十八卷、ルイ十四世の治世の概要。
 厂史81書より85書。第十九卷、ルイ
 十四世の治世の概要。厂史86書より
 90書。第二十卷、ルイ十四世の治世
 の概要。厂史91書より95書。第二十
 一卷、ルイ十四世の治世の概要。厂史
 96書より100書。第二十二卷、ルイ
 十四世の治世の概要。厂史101書より
 105書。第二十三卷、ルイ十四世の治
 世の概要。厂史106書より110書。第
 二十四卷、ルイ十四世の治世の概要。
 厂史111書より115書。第二十五卷、
 ルイ十四世の治世の概要。厂史116書
 より120書。第二十六卷、ルイ十四世
 の治世の概要。厂史121書より125書。
 第二十七卷、ルイ十四世の治世の概要。
 厂史126書より130書。第二十八卷、
 ルイ十四世の治世の概要。厂史131書
 より135書。第二十九卷、ルイ十四世
 の治世の概要。厂史136書より140書。
 第三十卷、ルイ十四世の治世の概要。
 厂史141書より145書。第三十一卷、
 ルイ十四世の治世の概要。厂史146書
 より150書。第三十二卷、ルイ十四世
 の治世の概要。厂史151書より155書。
 第三十三卷、ルイ十四世の治世の概要。
 厂史156書より160書。第三十四卷、
 ルイ十四世の治世の概要。厂史161書
 より165書。第三十五卷、ルイ十四世
 の治世の概要。厂史166書より170書。
 第三十六卷、ルイ十四世の治世の概要。
 厂史171書より175書。第三十七卷、
 ルイ十四世の治世の概要。厂史176書
 より180書。第三十八卷、ルイ十四世
 の治世の概要。厂史181書より185書。
 第三十九卷、ルイ十四世の治世の概要。
 厂史186書より190書。第四十卷、ル
 イ十四世の治世の概要。厂史191書よ
 り195書。第四十一卷、ルイ十四世の
 治世の概要。厂史196書より200書。
 第四十二卷、ルイ十四世の治世の概要。
 厂史201書より205書。第四十三卷、
 ルイ十四世の治世の概要。厂史206書
 より210書。第四十四卷、ルイ十四世
 の治世の概要。厂史211書より215書。
 第四十五卷、ルイ十四世の治世の概要。
 厂史216書より220書。第四十六卷、
 ルイ十四世の治世の概要。厂史221書
 より225書。第四十七卷、ルイ十四世
 の治世の概要。厂史226書より230書。
 第四十八卷、ルイ十四世の治世の概要。
 厂史231書より235書。第四十九卷、
 ルイ十四世の治世の概要。厂史236書
 より240書。第五十卷、ルイ十四世の
 治世の概要。厂史241書より245書。
 第五十一卷、ルイ十四世の治世の概要。
 厂史246書より250書。第五十二卷、
 ルイ十四世の治世の概要。厂史251書
 より255書。第五十三卷、ルイ十四世
 の治世の概要。厂史256書より260書。
 第五十四卷、ルイ十四世の治世の概要。
 厂史261書より265書。第五十五卷、
 ルイ十四世の治世の概要。厂史266書
 より270書。第五十六卷、ルイ十四世
 の治世の概要。厂史271書より275書。
 第五十七卷、ルイ十四世の治世の概要。
 厂史276書より280書。第五十八卷、
 ルイ十四世の治世の概要。厂史281書
 より285書。第五十九卷、ルイ十四世
 の治世の概要。厂史286書より290書。
 第六十卷、ルイ十四世の治世の概要。
 厂史291書より295書。第六十一卷、
 ルイ十四世の治世の概要。厂史296書
 より300書。第六十二卷、ルイ十四世
 の治世の概要。厂史301書より305書。
 第六十三卷、ルイ十四世の治世の概要。
 厂史306書より310書。第六十四卷、
 ルイ十四世の治世の概要。厂史311書
 より315書。第六十五卷、ルイ十四世
 の治世の概要。厂史316書より320書。
 第六十六卷、ルイ十四世の治世の概要。
 厂史321書より325書。第六十七卷、
 ルイ十四世の治世の概要。厂史326書
 より330書。第六十八卷、ルイ十四世
 の治世の概要。厂史331書より335書。
 第六十九卷、ルイ十四世の治世の概要。
 厂史336書より340書。第七十卷、ル
 イ十四世の治世の概要。厂史341書よ
 り345書。第七十一卷、ルイ十四世の
 治世の概要。厂史346書より350書。
 第七十二卷、ルイ十四世の治世の概要。
 厂史351書より355書。第七十三卷、
 ルイ十四世の治世の概要。厂史356書
 より360書。第七十四卷、ルイ十四世
 の治世の概要。厂史361書より365書。
 第七十五卷、ルイ十四世の治世の概要。
 厂史366書より370書。第七十六卷、
 ルイ十四世の治世の概要。厂史371書
 より375書。第七十七卷、ルイ十四世
 の治世の概要。厂史376書より380書。
 第七十八卷、ルイ十四世の治世の概要。
 厂史381書より385書。第七十九卷、
 ルイ十四世の治世の概要。厂史386書
 より390書。第八十卷、ルイ十四世の
 治世の概要。厂史391書より395書。
 第八十一卷、ルイ十四世の治世の概要。
 厂史396書より400書。第八十二卷、
 ルイ十四世の治世の概要。厂史401書
 より405書。第八十三卷、ルイ十四世
 の治世の概要。厂史406書より410書。
 第八十四卷、ルイ十四世の治世の概要。
 厂史411書より415書。第八十五卷、
 ルイ十四世の治世の概要。厂史416書
 より420書。第八十六卷、ルイ十四世
 の治世の概要。厂史421書より425書。
 第八十七卷、ルイ十四世の治世の概要。
 厂史426書より430書。第八十八卷、
 ルイ十四世の治世の概要。厂史431書
 より435書。第八十九卷、ルイ十四世
 の治世の概要。厂史436書より440書。
 第九十卷、ルイ十四世の治世の概要。
 厂史441書より445書。第九十一卷、
 ルイ十四世の治世の概要。厂史446書
 より450書。第九十二卷、ルイ十四世
 の治世の概要。厂史451書より455書。
 第九十三卷、ルイ十四世の治世の概要。
 厂史456書より460書。第九十四卷、
 ルイ十四世の治世の概要。厂史461書
 より465書。第九十五卷、ルイ十四世
 の治世の概要。厂史466書より470書。
 第九十六卷、ルイ十四世の治世の概要。
 厂史471書より475書。第九十七卷、
 ルイ十四世の治世の概要。厂史476書
 より480書。第九十八卷、ルイ十四世
 の治世の概要。厂史481書より485書。
 第九十九卷、ルイ十四世の治世の概要。
 厂史486書より490書。第一百卷、ル
 イ十四世の治世の概要。厂史491書よ
 り495書。第一百零一卷、ルイ十四世
 の治世の概要。厂史496書より500書。
 第一百零二卷、ルイ十四世の治世の概
 要。厂史501書より505書。第一百零
 三卷、ルイ十四世の治世の概要。厂史
 506書より510書。第一百零四卷、ル
 イ十四世の治世の概要。厂史511書よ
 り515書。第一百零五卷、ルイ十四世
 の治世の概要。厂史516書より520書。
 第一百零六卷、ルイ十四世の治世の概
 要。厂史521書より525書。第一百零
 七卷、ルイ十四世の治世の概要。厂史
 526書より530書。第一百零八卷、ル
 イ十四世の治世の概要。厂史531書よ
 り535書。第一百零九卷、ルイ十四世
 の治世の概要。厂史536書より540書。
 第一百一十卷、ルイ十四世の治世の概
 要。厂史541書より545書。第一百一
 十一卷、ルイ十四世の治世の概要。厂
 史546書より550書。第一百一十二卷、
 ルイ十四世の治世の概要。厂史551書
 より555書。第一百一十三卷、ルイ十
 四世の治世の概要。厂史556書より560
 書。第一百一十四卷、ルイ十四世の治
 世の概要。厂史561書より565書。第
 一百一十五卷、ルイ十四世の治世の概
 要。厂史566書より570書。第一百一
 十六卷、ルイ十四世の治世の概要。厂
 史571書より575書。第一百一十七卷、
 ルイ十四世の治世の概要。厂史576書
 より580書。第一百一十八卷、ルイ十
 四世の治世の概要。厂史581書より585
 書。第一百一十九卷、ルイ十四世の治
 世の概要。厂史586書より590書。第
 一百二十卷、ルイ十四世の治世の概要。
 厂史591書より595書。第一百二十一
 卷、ルイ十四世の治世の概要。厂史596
 書より600書。第一百二十二卷、ルイ
 十四世の治世の概要。厂史601書より
 605書。第一百二十三卷、ルイ十四世
 の治世の概要。厂史606書より610書。
 第一百二十四卷、ルイ十四世の治世の
 概要。厂史611書より615書。第一百
 二十五卷、ルイ十四世の治世の概要。厂
 史616書より620書。第一百二十六卷、
 ルイ十四世の治世の概要。厂史621書
 より625書。第一百二十七卷、ルイ十
 四世の治世の概要。厂史626書より630
 書。第一百二十八卷、ルイ十四世の治
 世の概要。厂史631書より635書。第
 一百二十九卷、ルイ十四世の治世の概
 要。厂史636書より640書。第一百三十
 卷、ルイ十四世の治世の概要。厂史641
 書より645書。第一百三十一卷、ルイ
 十四世の治世の概要。厂史646書より
 650書。第一百三十二卷、ルイ十四世
 の治世の概要。厂史651書より655書。
 第一百三十三卷、ルイ十四世の治世の
 概要。厂史656書より660書。第一百三
 十四卷、ルイ十四世の治世の概要。厂
 史661書より665書。第一百三十五卷、
 ルイ十四世の治世の概要。厂史666書
 より670書。第一百三十六卷、ルイ十
 四世の治世の概要。厂史671書より675
 書。第一百三十七卷、ルイ十四世の治
 世の概要。厂史676書より680書。第
 第一百三十八卷、ルイ十四世の治世の
 概要。厂史681書より685書。第一百三
 十九卷、ルイ十四世の治世の概要。厂
 史686書より690書。第一百四十卷、
 ルイ十四世の治世の概要。厂史691書
 より695書。第一百四十一卷、ルイ十
 四世の治世の概要。厂史696書より700
 書。第一百四十二卷、ルイ十四世の治
 世の概要。厂史701書より705書。第
 第一百四十三卷、ルイ十四世の治世の
 概要。厂史706書より710書。第一百四
 十四卷、ルイ十四世の治世の概要。厂
 史711書より715書。第一百四十五卷、
 ルイ十四世の治世の概要。厂史716書
 より720書。第一百四十六卷、ルイ十
 四世の治世の概要。厂史721書より725
 書。第一百四十七卷、ルイ十四世の治
 世の概要。厂史726書より730書。第
 第一百四十八卷、ルイ十四世の治世の
 概要。厂史731書より735書。第一百四
 十九卷、ルイ十四世の治世の概要。厂
 史736書より740書。第一百五十卷、
 ルイ十四世の治世の概要。厂史741書
 より745書。第一百五十一卷、ルイ十
 四世の治世の概要。厂史746書より750
 書。第一百五十二卷、ルイ十四世の治
 世の概要。厂史751書より755書。第
 第一百五十三卷、ルイ十四世の治世の
 概要。厂史756書より760書。第一百五
 十四卷、ルイ十四世の治世の概要。厂
 史761書より765書。第一百五十五卷、
 ルイ十四世の治世の概要。厂史766書
 より770書。第一百五十六卷、ルイ十
 四世の治世の概要。厂史771書より775
 書。第一百五十七卷、ルイ十四世の治
 世の概要。厂史776書より780書。第
 第一百五十八卷、ルイ十四世の治世の
 概要。厂史781書より785書。第一百五
 十九卷、ルイ十四世の治世の概要。厂
 史786書より790書。第一百六十卷、
 ルイ十四世の治世の概要。厂史791書
 より795書。第一百六十一卷、ルイ十
 四世の治世の概要。厂史796書より800
 書。第一百六十二卷、ルイ十四世の治
 世の概要。厂史801書より805書。第
 第一百六十三卷、ルイ十四世の治世の
 概要。厂史806書より810書。第一百六
 十四卷、ルイ十四世の治世の概要。厂
 史811書より815書。第一百六十五卷、
 ルイ十四世の治世の概要。厂史816書
 より820書。第一百六十六卷、ルイ十
 四世の治世の概要。厂史821書より825
 書。第一百六十七卷、ルイ十四世の治
 世の概要。厂史826書より830書。第
 第一百六十八卷、ルイ十四世の治世の
 概要。厂史831書より835書。第一百六
 十九卷、ルイ十四世の治世の概要。厂
 史836書より840書。第一百七十卷、
 ルイ十四世の治世の概要。厂史841書
 より845書。第一百七十一卷、ルイ十
 四世の治世の概要。厂史846書より850
 書。第一百七十二卷、ルイ十四世の治
 世の概要。厂史851書より855書。第
 第一百七十三卷、ルイ十四世の治世の
 概要。厂史856書より860書。第一百七
 十四卷、ルイ十四世の治世の概要。厂
 史861書より865書。第一百七十五卷、
 ルイ十四世の治世の概要。厂史866書
 より870書。第一百七十六卷、ルイ十
 四世の治世の概要。厂史871書より875
 書。第一百七十七卷、ルイ十四世の治
 世の概要。厂史876書より880書。第
 第一百七十八卷、ルイ十四世の治世の
 概要。厂史881書より885書。第一百七
 十九卷、ルイ十四世の治世の概要。厂
 史886書より890書。第一百八十卷、
 ルイ十四世の治世の概要。厂史891書
 より895書。第一百八十一卷、ルイ十
 四世の治世の概要。厂史896書より900
 書。第一百八十二卷、ルイ十四世の治
 世の概要。厂史901書より905書。第
 第一百八十三卷、ルイ十四世の治世の
 概要。厂史906書より910書。第一百八
 十四卷、ルイ十四世の治世の概要。厂
 史911書より915書。第一百八十五卷、
 ルイ十四世の治世の概要。厂史916書
 より920書。第一百八十六卷、ルイ十
 四世の治世の概要。厂史921書より925
 書。第一百八十七卷、ルイ十四世の治
 世の概要。厂史926書より930書。第
 第一百八十八卷、ルイ十四世の治世の
 概要。厂史931書より935書。第一百八
 十九卷、ルイ十四世の治世の概要。厂
 史936書より940書。第一百九十卷、
 ルイ十四世の治世の概要。厂史941書
 より945書。第一百九十一卷、ルイ十
 四世の治世の概要。厂史946書より950
 書。第一百九十二卷、ルイ十四世の治
 世の概要。厂史951書より955書。第
 第一百九十三卷、ルイ十四世の治世の
 概要。厂史956書より960書。第一百九
 十四卷、ルイ十四世の治世の概要。厂
 史961書より965書。第一百九十五卷、
 ルイ十四世の治世の概要。厂史966書
 より970書。第一百九十六卷、ルイ十
 四世の治世の概要。厂史971書より975
 書。第一百九十七卷、ルイ十四世の治
 世の概要。厂史976書より980書。第
 第一百九十八卷、ルイ十四世の治世の
 概要。厂史981書より985書。第一百九
 十九卷、ルイ十四世の治世の概要。厂
 史986書より990書。第二百卷、ルイ
 十四世の治世の概要。厂史991書より
 995書。第二百零一卷、ルイ十四世の
 治世の概要。厂史996書より1000書。

挿入文書

4

スミス文庫

ランス軍隊とスウエーデン軍隊との合流、即ち
 1640年まで。第九巻に含まれる五書の概要 41
 書より45書。厂史41書より43書。第二部厂史44
 書45書。第十巻、カタロニヤの叛乱から此の
 公爵の死に至るまで。第一部この巻に含まれる
 五書の概要、46書より50書。厂史46書47書。第
 二部厂史48書より50書。
 ボナニーに刊行年1735年とあるも、1732—51年
 。又Cとたけ記され、丁とけ記さ
 。 (Bonar p. 190 参照)

16×20=320

東京大学経済学部

挿入文書

(106)

スミヌス文庫

Bonar, P. 154.

Rabelais, François, 1490-1553?

Œuvres de maître François Rabelais, avec des remarques historiques et critiques de M. Le Duchat. Nouv. éd. ... augmentée de quantité de nouvelles remarques de M. Le Duchat, de celles de l'édition anglaise des Œuvres de Rabelais, de ses lettres, & de plusieurs pièces curieuses & intéressantes ... Amsterdam, J. F. Bernard, 1741.

Tom. 1-3.

ラブレール, フランソワ・ラブレール 作品集

・デュシャットの「史的・批判的註釈附。」 新

版 全三巻、アムステルダム, 1741年。

新跋序, 並に序文。

内容 第一巻、^人フランソワ・ラブレールの生涯

と風格について。フランソワ・ラブレール 作品集

、第一書 ガルカンチユワ (Gargantua), 第二

書 パンタグリュエル (Pantagruel), 第三書。

善良なるパンタグリュエルの英雄的 云行。 第

二巻、^人パンタグリュエル, 第五書

シタグリュエル。 第三巻、^Vフランソワ・ラブレール

の生涯。フランソワ・ラブレールの書簡。其

他。

此の版はベ・ピカール其他の挿画

デュシャットの多くの註釈と、ラブレールの註解が

増補されてゐる。

挿入文書

スミス文庫

フランソワ・ラヴレーは医学の博士。

16×20=320

東京大学経済学部

ラリー ^伯 ~~公爵~~ ^の ~~大~~ ^大 ~~賞~~ ^賞 書

□ 王軍隊の陸軍中將

~~ルイ~~ ^{ルイ} ~~ド~~ ~~ヌ~~ ~~ル~~ 一等勲章佩用者 ~~聯隊~~

伯爵名を以てアイルランド 師團長

□ 王侍 警視 伯爵 司令官 工廠

本軍 總長 閣下 にお あり

ハ

~~聖職者~~ ^{聖職者}
フランス 国王 及 諸 侯 の 印刷 者 たる
ギョーグ・ド・ポレ 印刷

1766 年

挿入文書

覚書

口王の軍隊の元帥ニハ ビュニイ卿の女に用いる。

陸軍中將 ラリ卿 が口民の治に於ては 覚書に於て
詳述され
輔明文に於ては 後立つと云ふ ビュニイ卿 ラリ卿 の功績に
ハ 喜簡を合む

ハオリ

ミシエル・ラバール印刷所
ブルゴニユ 高き子校 コロドワエ街

1766年

挿入文書

ビュニイ卿 ^{の宛の} ~~宛~~ 宛書。

パリ。ミゼル・ラベール 印刷。1766年。

序言

国王の軍隊の元帥たるビュニイ卿の宛に参照すべき宛書。

ラー-グロがロドに託した宛書について。

^近 最近の戦争中ロドに書かれたビュニイ及びラー ^宛 ^宛 その他の書簡。

第一期。

ラーのロド到着後、¹⁷⁵⁸ 12月 → 1758年5月10日より ^{12月} 12月

マダガスカル島の解放期 1759年2月まで ~~まで~~

第二期。

1759年3月より8月16日まで。

第三期。

1759年8月16日より1760年1月22日まで。ロド。

スエーデン。ラ・グロニエウスの到着よりグロニエウスの戦役開始。

第四期。

1760年1月22日より8月まで。ロド。私が所属した
グロニエウスの戦役より。ロドに引きの英口から
へ私が乗船するまで。

挿入文書

↳ Mémoire pour le Sieur de Bussy.

Paris, de l'imprimerie de Michel Lambert. 1766.

Bound in one volume with "Mémoire pour le comte de Lally."

Avertissement.

Mémoire à consulter pour le Sieur de Bussy,
Maréchal des Camps & Armées du Roi;

au sujet du Mémoire que le Sieur de Lally
vient de répandre dans le Public.

Lettres de Messieurs de Bussy, de Lally, et Autres,
écrites dans l'Inde pendant la dernière Guerre.

Première Époque.

A compter du 10 Mai 1758, douze jours après
l'arrivée de M. de Lally dans l'Inde, jusqu'au mois
de Février 1759, temps de la levée du siège de
Madras.

Seconde Époque.

Depuis le mois de Mars 1759, jusqu'au 16
Août suivant.

Troisième Époque.

Depuis 16 Août 1759 jusqu'au 22 Janvier 1760,
c'est-à-dire, depuis l'arrivée de la Frégate la
Gracieuse, jusqu'à la bataille de Vandavachy.

Quatrième Époque.

Du 22 Janvier 1760 au mois d'Août suivant,
c'est-à-dire depuis la bataille de Vandavachy où je
fus fait prisonnier, jusqu'à mon embarquement
sur un vaisseau Anglois pour être conduit à
Londres.

挿入文書

説明
ターゲット

この原本は
一部文書が
糊付けされています

ルイ十三世治下
のヨーロッパ概観史

Le Vassor, Michel.
Histoire du regne de Louis XIII.
Nouv., 3, 5. ed.
Anst., Zacharie Chatelain, 1733-51.?
18v. 16°

HISTOIRE
GENERALE
DE
L'EUROPE
SOUS
LE REGNE
DE
LOUIS XIII.

Bonar, P. 190. Vassor (Michel. le)
Histoire du regne de Louis XIII. Nouv.
Small 8vo, calf. Amsterdam, 1735
10 Tomes,
Bonar marks only C. (not J.)

1750.
Derniere Edition
Tome I.
Tome II. Premiere Partie. Nouvelle Edition
" Deuxieme Partie "
Tome III. Premiere Partie "
" Seconde Partie "
Tome IV. "
Tome V. Premiere Partie "
" II. Partie "
Tome VI. Premiere Partie "
" Seconde Partie "
Tome VII. I. Partie "
" II. Partie "
Tome VIII. I. Partie Troisieme Edition
" II. Partie "
Tome IX. I. Partie Nouvelle Edition
" II. Partie "
Tome X. I. Partie "
" II. Partie "

下史

Le Vassor, Michel.

Histoire du regne de Louis XIII.

Nouv., 3, 5. id.

Anst., Zacharie Chatelain, 1733-51.?
18v. 16°

HISTOIRE

GENERALE

DE

L'EUROPE

SOUS

LE REGNE

DE

LOUIS XIII.

Bonar, P. 190. Vassor (Michel. le)

Histoire du regne de Louis XIII. Nouv. ed. 10 vol
Small 8vo, calf. Amsterdam, 1735.

10 Tomes, 18 volu

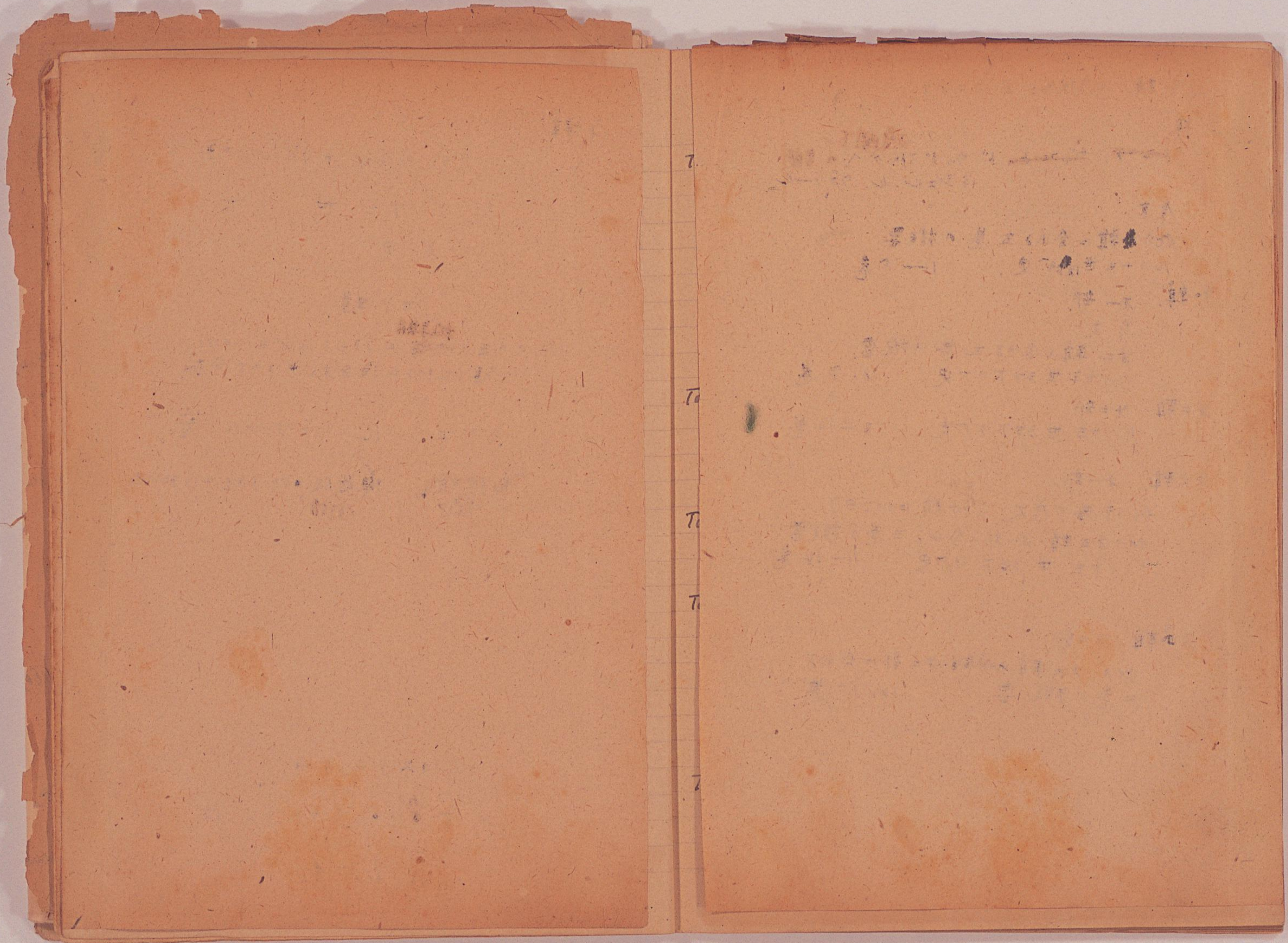
Bonar marks only C. (not J.)

Tome I.	Derniere Edition	1750.
Tome II.	Premiere Partie.	Nouvelle Edition 1751.
"	Deuxieme Partie	" 1751.
Tome III.	Premiere Partie	" 1733.
"	Seconde Partie	" 1733.
Tome IV.	"	" 1751.
Tome V.	Premiere Partie	" 1751.
"	II. Partie	" 1751.
Tome VI.	Premiere Partie	" 1734.
"	seconde Partie	" 1734.
Tome VII.	I. Partie	" 1751.
"	II. Partie	" 1751.
Tome VIII.	I. Partie	Troisieme Edition 1732
"	II. Partie	" 1732
Tome IX.	I. Partie	Nouvelle Edition 1735.
"	II. Partie	" 1735.
Tome X.	I. Partie	" 1751.
"	II. Partie	" 1751.

1750	1750	1750	1750
1751	1751	1751	1751
1733	1733	1733	1733
1751	1751	1751	1751
1751	1751	1751	1751
1734	1734	1734	1734
1734	1734	1734	1734
1751	1751	1751	1751
1751	1751	1751	1751
1732	1732	1732	1732
1732	1732	1732	1732
1735	1735	1735	1735
1735	1735	1735	1735
1751	1751	1751	1751
1751	1751	1751	1751

説明 ターゲット

この原本は
一部文書が
糊付けされています



説明
ターゲット

この原本は
一部文書が
糊付けされています

オ一尊

フランス及びナヴァール王
ルイ十三世 14下
の歴史

オ一尊

未成時期
この王の在位はフランス及びナヴァールに
に起つたものと注目すべきものも、

ミエール・ル・ヴァソール 氏著

最新版 前版 訂正版に訂正された
改行 行詰

アムステルダム

ザックリエ・シャトレイン 社

1750年

I. 288
-Page

HISTOIRE
DU REGNE
DE
LOUIS XIII.
ROI DE FRANCE ET DE NAVARRE,
TOME PREMIER,

Contenant les choses les plus remarquables arri-
vées en France & en Europe durant
la Minorité de ce Prince.

Par Mr. MICHEL LE VASSOR.

Dernière Edition, revue, & plus exactement
corrigée que les précédentes.

A AMSTERDAM,

chez
ZACHARIE CHATELAIN.

MDCCL.

(各Tomeの内容は各Title-Pageにあり。)

Tome I.
EPITRE.
A Mylord Viconte de Woodstock.
Michel le

PREFACE
Sommaire des cinq livres contenus

Histoire du Regne de Louis XIII. Livres

Tome II. Première Partie
Avertissement
Sommaire des cinq livres contenus
Histoire du Regne de Louis XIII. Livres

Tome II. Deuxième Partie.
Histoire du Regne de Louis XIII. Livres

Tome III. Première Partie
Avertissement du Libraire, sur
Sommaire des Trois Livres contenus
Première Partie de ce III. Volume
Histoire du Regne de Louis XIII. Livres

Tome III. seconde Partie
Sommaire des deux Livres contenus
seconde Partie de ce III. Volume

I. 208
-Page

HISTOIRE
DU REGNE
DE
LOUIS XIII.
ROI DE FRANCE ET DE NAVARRE,
TOME PREMIER,

Contenant les choses les plus remarquables arri-
vées en France & en Europe durant
la Minorité de ce Prince.

Par Mr. MICHEL LE VASSOR.

Dernière Edition, revue, & plus exactement
corrigée que les précédentes.

A AMSTERDAM,

chez
ZACHARIE CHATELAIN.

M D C C L.

(各Tomeの内容は各Title-Pageにあり.)

Tome I.

EPITRE.

A Mylord Viconte de Woodstock.

Michel le Vassor.

PREFACE

Sommaire des cinq livres contenus dans ce ^{Volume}

Histoire du Regne de Louis XIII. Livres 1-5.

Tome II. Première Partie

Avertissement

Sommaire des cinq livres contenus dans ce II.

Histoire du Regne de Louis XIII. Livres 6-7.

Tome II. Deuxième Partie.

Histoire du Regne de Louis XIII. Livres 8-10.

Tome III. Première Partie

Avertissement du Libraire, sur cette nouvelle
édition.

Sommaire des Trois Livres contenus dans la
Première Partie de ce III. Volume.

Histoire du Regne de Louis XIII. Livres 11-14

Tome III. seconde Partie

Sommaire des deux ~~livres~~ livres. contenus dans la
seconde Partie de ce III. Volume. Livres 1

(各輯の内容は各目次にあり)

オ一輯.

~~オ一輯.~~ ^{子爵閣下} ド. ウッドストックへの要請
ミシエル. ル. ヴァッソー.

序言

此の輯に含める五巻の概要.

ルイ十三世の歴史. 1-5巻

オ二輯. オ一部.

序文

オ二輯に含める五巻の概要.

ルイ十三世の下の歴史. 6-7巻.

オ三輯. オ一部.

ルイ十三世の下の歴史.

8-10巻.

オ四輯. オ一部.

刊行者の序文. (新版は10-11巻の)

此のオ四輯. オ一部に含める三巻の概要.

ルイ十三世の下の歴史. 11-14巻.

オ五輯. オ一部.

此のオ五輯. オ一部に含める

二巻の概要. 14, 15巻.

一ルの王

下

ヨ一ロツハ
もの合

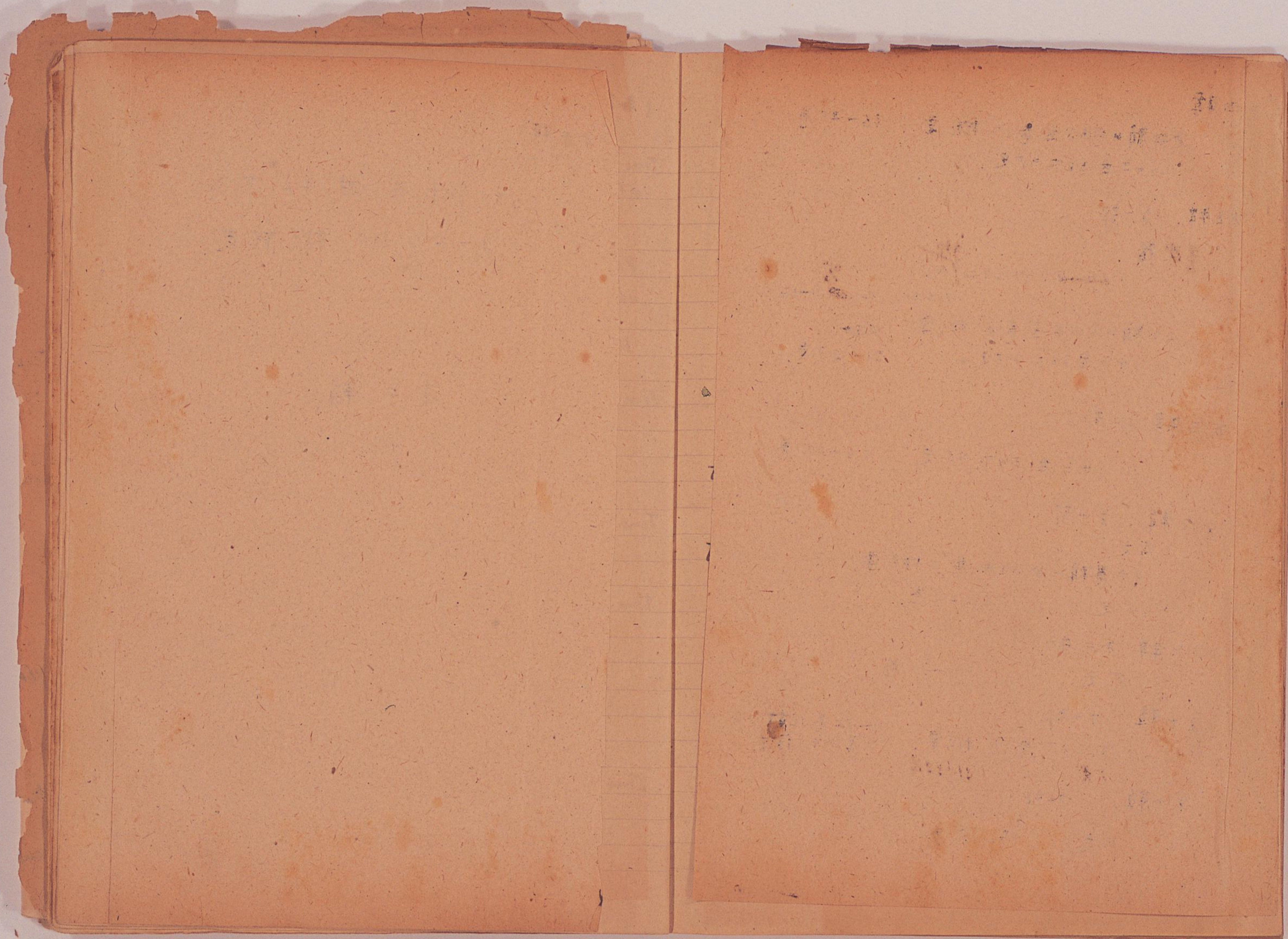
一ル氏著

正の記は訂正された

社

説明
ターゲット

この原本は
一部文書が
糊付けされています



説明
ターゲット

この原本は
一部文書が
糊付けされています

(オ = 輯)

ルイ十三世以下の
ヨーロッパ 概観史

オ = 輯

28

M.2)

HISTOIRE
GENERALE
DE
L'EUROPE
SOUS
LE REGNE
DE
LOUIS XIII.
TOME SECOND.

Tome IV.

Sommaire des cinq livres contenus de
l'histoire du Regne de Louis XIII. Livres

Tome V. Premiere Partie

EPITRE

A Mylord WHARTON.

Michel de

Sommaire des cinq livres contenus de

l'histoire du Regne de Louis XIII. Livre

Tome V. seconde Partie

l'histoire du Regne de Louis XIII. Livres

Tome VI. Premiere Partie

Avertissement

Sommaire des 5 livres contenus de
l'histoire Livres 26, 27

Tome VI. seconde Partie

l'histoire Livres 28-30

Tome VII. 1. Partie.

Sommaire du Livre # ~~31~~³¹-35.

livre 31
-葉 (=

l'histoire Livre 31-33

Tome VII. Deuxieme Partie

l'histoire. Livres 34, 35.

28

M.2)

HISTOIRE
 GENERALE
 DE
 L'EUROPE
 SOUS
 LE REGNE
 DE
 LOUIS XIII.
 TOME SECOND.

下の
史

Tome IV.

Sommaire des cinq livres contenus dans le Tome IV.
 Histoire du Regne de Louis XIII. Livres 16-20

Tome V. Premiere Partie

EPITRE
 A Mylord WHARTON.

Michel le Vassor.

Sommaire des cinq livres contenus dans ce Tome V.
 Histoire du Regne de Louis XIII. Livres 21-25

Tome V. seconde Partie

Histoire du Regne de Louis XIII. Livres 24-25

Tome VI. Premiere Partie

Avertissement
 Sommaire des 5 livres contenus dans le Tome VI.
 Histoire Livres 26, 27

Tome VI. seconde Partie

Histoire Livres 28-30

Tome VII. 1. Partie.

Sommaire du Livre # ³¹ ~~30~~ - 35.
 Histoire Livre 31-33.

Livre 31-32 75e
一葉(=頁)落丁.

Tome VII. Deuxieme Partie

Histoire. Livres 34, 35.

本四輯

本四輯の合したる五巻の概要 16-25巻
 ルイ十三世治下の歴史

本五輯 本一部

書目簡

ミニエル、ルイ、
 ミニエル、ルイ、

この輯の合したる五巻の概要
 ルイ十三世治下の歴史 21-23巻

本五輯 本二部

ルイ十三世治下の歴史 24-25巻

本六輯 本一部

序文
 本六巻輯の合したる五巻の概要
 歴史 26, 27巻

本六輯 本二部

歴史 28-30巻

本七輯 本一部

31-35巻の概要
 歴史 31-33巻

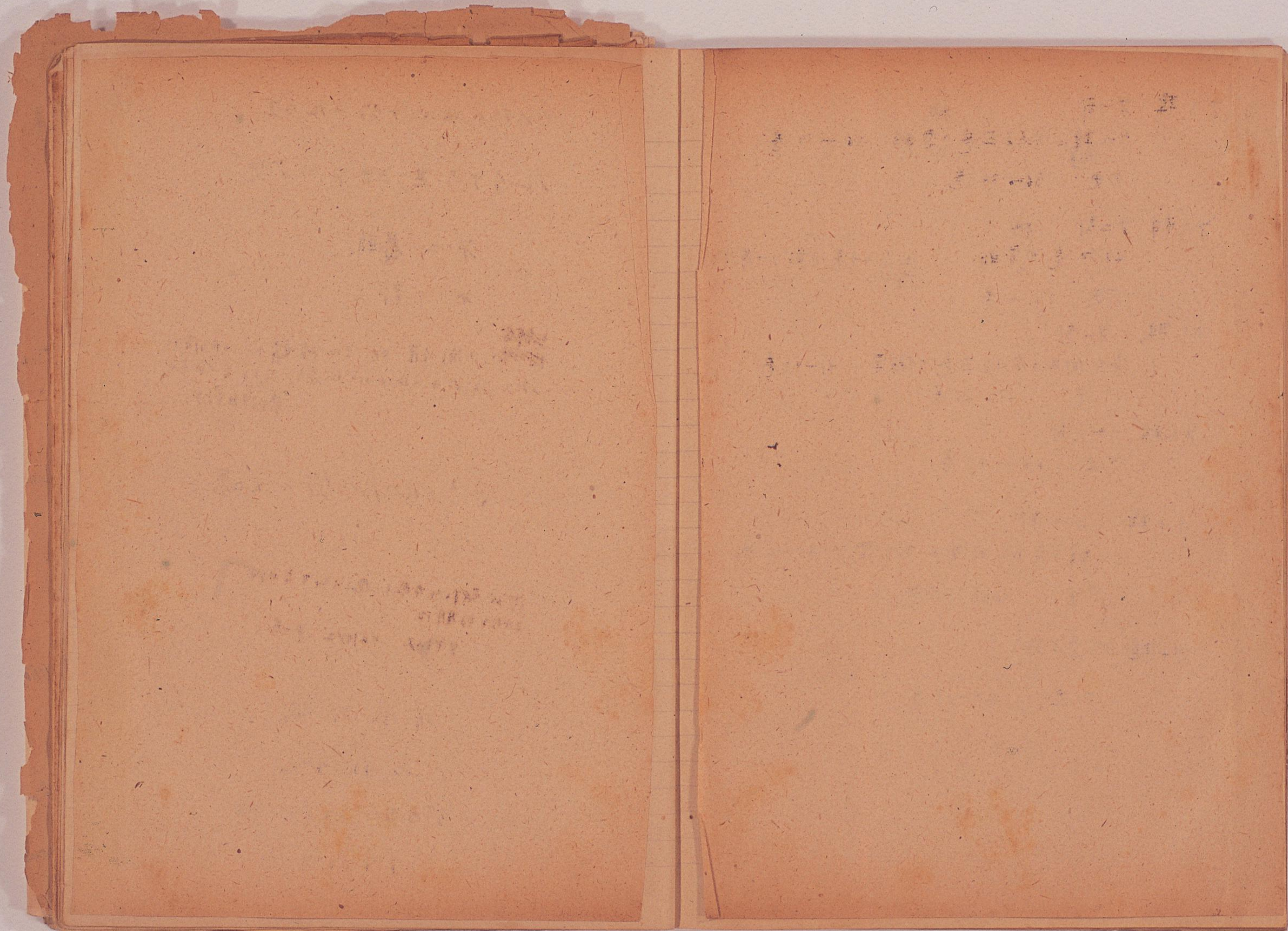
31-32巻記載、
一葉(=頁)落丁.

本七輯 本二部

歴史 34, 35巻

説明 ターゲット

この原本は
一部文書が
糊付けされています



説明
ターゲット

この原本は
一部文書が
糊付けされています

フランス及びナヴァールの王
ルイ十三世 治下の歴史

オニ 巻頭
オ一部

二冊合
冊の前後より王の結婚にいたる間は
フランス及びヨーロッパに及ぶことを含む
最注目すべき

シエル・ル・ヴァソール 著

1751年 版
王の加冕は
タキウス ヒストリア 第一巻

改訂版

アムステルダム

ザカリエ・シャトラン 社

1751年

2巻

HISTOIRE

DU REGNE

DE

LOUIS XIII.

ROI DE FRANCE ET DE NAVARRE.

TOME SECOND

PREMIERE PARTIE,

Contenant ce qui est arrivé de plus remarquable en
France & dans l'Europe depuis l'ouverture
des Etats Généraux jufques au
mariage du Roi.

Par Mr. MICHEL LE VASSOR.

Rara temporum felicitate, ubi sentire que velis
quod sentias dicere licet. Cornel.
Tacit. Histor. Libr. 1.

Nouvelle Edition revue & corrigée.

A AMSTERDAM,
Chez ZACHARIE CHATELAIN.
M DCC LI.

Tome VIII. Première Partie
Sommaire des cinq livres contenus
huitième Volume.
Histoire Livres 36-38.

Tome VIII. seconde Partie
Sommaire du Livre 49-50.
Histoire. Livres 39-40

Tome IX. Première Partie
Sommaire des cinq livres contenus
IX. Volume. Livres 41-43.
Histoire. Livres 41-43.

Tome IX. Deuxième Partie.
Histoire. Livres 44-45.

Tome X. Première Partie
Sommaire des cinq livres contenus
Volume. Livres 46-47.
Histoire Livres 46-47.

Tome X. seconde Partie.
Histoire Livres 48-50.

2-65

HISTOIRE

DU REGNE

DE

LOUIS XIII.

ROI DE FRANCE ET DE NAVARRE.

TOME SECOND.

PREMIERE PARTIE,

Contenant ce qui est arrivé de plus remarquable en France & dans l'Europe depuis l'ouverture des Etats Généraux jusques au mariage du Roi.

Par Mr. MICHEL LE VASSOR.

Rara temporum felicitate, ubi sentire que velis
quae sentias dicere licet. Cornel.
Tacit. Histor. Libr. 1.

Nouvelle Edition revue & corrigée.

A AMSTERDAM,
Chez ZACHARIE CHATELAIN.
M DCC LI.

Tome VIII. Première Partie

Sommaire des cinq livres contenus dans le huitième Volume. ~~les~~ livres 36-38

Histoire Livre 36-38.

Tome VIII. Seconde Partie

Sommaire du Livre 39. 50. ^{le Livre 49 est} ^{la (2P) 2e J.}

Histoire. Livres 39-40

Tome IX. Première Partie

Sommaire des cinq livres contenus dans IX. Volume. Livres 41-45

Histoire. Livres 41-45.

Tome IX. Deuxième Partie.

Histoire. Livres 44-45.

Tome X. Première Partie

Sommaire des cinq livres contenus dans Volume. Livres 46-50

Histoire Livres 46-47.

Tome X. Seconde Partie.

Histoire Livres 48-50.

オ八輯 オ一部

概

オ八輯 ^{冊目} = 合する五巻の要約 36-39 巻

丁史 36-38 巻

オ八輯 オ二部

概

49.50 巻の要約

但し 49 巻記載の一葉(2P) 落丁.

丁史 39.40 巻

オ九輯 オ一部

オ九輯目 = 合する五巻の概要 41-45 巻

丁史 41-43 巻

オ九輯 オ二部

丁史 44-45 巻

オ十輯 オ一部

この輯に合する五巻の概要 46-50 巻

丁史 46-47 巻

オ十輯 オ二部

丁史 48-50 巻

1208
(Tom. 2, p. 2)

HISTOIRE

DU REGNE

DE

LOUIS XIII.

ROI DE FRANCE ET DE NAVARRE.

TOME SECOND,

DEUXIÈME PARTIE,

Contenant ce qui est arrivé de plus remarquable

en France & dans l'Europe depuis le

marriage du Roi jusqu'à l'éloignement

de la Reine Mère.

Par Mr. MICHEL LE VASSOR.

Nouvelle Edition revue & corrigée.

A AMSTERDAM,

Chez ZACHARIE CHATELAIN,

M DCC LI.

フランス及びナヴァールの王

ルイ十三世の歴史

オ = 巻群

オ = 部

攝政皇后 (遠征) の
王の結婚より 女王の離脱にいたる
間にフランス及びヨーロッパに起つた戦争の
経過を記す。

ミシェル・ル・ヴァスール著

新訂版

アムステルダム

ザッカリヤ・シャトラン社

1751年

80
638

(TOM. 3)

HISTOIRE

DU REGNE DE
LOUIS XIII.
ROI DE FRANCE ET DE NAVARRE.
TOME TROISIEME,

Contenant ce qui est arrivé de plus remarquable
en France & en Europe depuis la faveur de
Luines jusques au commencement des Guerres
de Religion.

*Sicut vetus stas vidit quid ultimum in
libertate esset, ita nos quid in servitute.*

Cornel. Tacit. initio Vitæ Julii

Agricola.

Par Mr. MICHEL LE VASSOR.

Nouvelle Edition revue, corrigée & augmentée
sur l'Exemplaire de l'Auteur.

A AMSTERDAM,
Chez ZACHARIE CHATELAIN.

M. D. CCXXXIII.

フランス及びナヴァール王

ルイ十三世 治下の歴史

才 三 卷 輯

ルイ十三世の寵愛より宗教戦争開始にいたるまで
フランス及びナヴァールに起つた出来事
を記す。

古人は自由の法に終局 何かあるかを見
ゆゆゆは 服従の法に何かあるかを見る。

傳 肩 頭

コルネリウス・タキトゥス著 ユリウス・アグrippラの生涯の補遺

ミシェル・ル・ヴァッソール 著

新 改 訂 版 (補遺増補)
著者の原本に依る
所蔵

アムステルダム

ザカリー・シャトラン 社

1733年

205
(TOM. 3. P. 2) HISTOIRE
DU REGNE DE
LOUIS XIII.

ROI DE FRANCE ET DE NAVARRE.

TOME TROISIÈME.

SECONDE PARTIE.

Nouvelle Edition revue, corrigée & augmentée

sur l'Exemplaire de l'Auteur.

A AMSTERDAM,

Chez ZACHARIE CHATELAIN,

M. D. CCXXXIII.

(和訳) (頁)

ルイ十三世 治下の史

フランス及びナヴァールの王

才三 編輯

才 = 部

新改訂版

著者の遺本に依る。誤植
訂正

アムステルダム

ザカリー・シャトラン社

1873年

218
(TOM. 4) HISTOIRE
DU REGNE
DE
LOUIS XIII.

ROI DE FRANCE ET DE NAVARRE.

TOME QUATRIÈME,

Contenant ce qui est arrivé de plus remarquable en
France & en Europe depuis l'Assemblée de
la Rochelle jusqu'au Ministère du
Cardinal de Richelieu.

Par Mr. MICHEL LE VASSOR.

*Nihil proficit patientia, nisi ut graviora tuncquam ex
facili tolerantibus impendantur.*
Cornel. Tacit. Vite Julii Agricola Cap. XV.
Nouvelle Edition revue & corrigée.

A. AMSTERDAM.

Chez ZACHARIE CHATELAIN.
M DCC LI.

フランス及びナヴァールの王
ルイ十三世 治下の歴史
三

第四巻

ラ・ロシエルの會議よりリシユウ枢機卿
内閣に在る間はフランス及びヨーロッパに起つた
最も注目すべき事を含む。

ミシェル・ル・ヴァソール著
宛前には有るが、重訂版の命ぜられたり、その何れ
の版に於て、コレリウス・タキウスとユリウス・アウグロイの十五卷

新訂版

アムステルダム

ハ
リ
ー
・
シ
ャ
ト
ラ
ン
社

1751年

(TOM. 5) HISTOIRE
DU REGNE
DE LOUIS XIII.

ROI DE FRANCE ET DE NAVARRE.

TOME CINQUIÈME.

Contenant ce qui est arrivé de plus remarquable
en France & en Europe; au commencement du
MINISTÈRE du cardinal de Richelieu, depuis
La Ligue pour le recouvrement de la Valteline
jusques à la prise de la Rochelle.

Par Mr. MICHEL LE VASSOR,

*Precipuum munus Annalium rer, ne virtutes fileantur,
utque pravis dictis fastisque ex posteritate &
infamia metus sit. Tacit. Lib. III. Annal.*

Nouvelle Edition revue & corrigée.

A AMSTERDAM,

Chez ZACHARIE CHATELAIN,
M DCC LI.

フランス及びナヴァール王
ルイ十三世治下の歴史

第五卷

~~旧版~~

フランス及びヨーロッパに起つた最も注目すべきものを
含む。リシユの枢密卿の内閣の和議の
ワルトクリューン回復のための同盟軍、ロシエ
攻略にまで至る。旧版

ミシエル・ル・ヴァソール 著

歴史の特別の任務は優れた行跡が黙述せらるゝが且つ悪しき
言行は後世と不名誉とあり恐怖が行すようになすべしなりと
私は思う。 神々、神々

改訂版

アムステルダム

ザカリー・シャトレイン 社

1751年

(TOMES. P. 2) HISTOIRE
DU REGNE
DE
LOUIS XIII.

ROI DE FRANCE ET DE NAVARRE.

TOME CINQUIÈME,

II. PARTIE,

Contenant les choses les plus remarquables

arrivées en France & en Europe au commencement
du Ministère du Cardinal de Richelieu.

Par Mr. MICHEL LE VASSOR.

Nouvelle Edition revue & corrigée.

A AMSTERDAM,

Chez ZACHARIE CHATELAIN,

M DCC LI.

「リル」9巻27頁208.717

フランス及びナヴァールの王
ルイ十三世以下の歴史

第五卷輯

オ = 部

リシリュウ枢機卿の内閣の^{初期}始め頃
フランス及びヨーロッパに起つた最も注目すべき
事件も含む。

ミシェル・ル・ヴァスール 著

新改訂版

アマステルダム

ザカリア・シャトラン社

1751年

説明
ターゲット

この原本は
一部文書が
糊付けされています

90
Rabelais, François.
Œuvres complètes. FR avec des remarques historiques et

Bonar, P. 154. Rabelais (François).
Œuvres. Nouv. ed. 3 vols. 4to, calf...Amsterd., 1741.

Who is Rabelais, and what is the nature of his works?
Tome II contains his life..

(ルネワラ)

ボナール. 154頁. ラブレー(1493-1517)作品集.
新. 版. 3巻. カルブ. アムステルダム 1741

ラブレーとは、どんな人か。彼の作品は、いかゞの性質のものか。
オ三巻。彼の生涯傳記を合む。

説明
ターゲット

この原本は
一部文書が
糊付けされています

9
350

ラブレール・フランソワ。
フランソワ・ラブレールの作品。ル・デュシャットの
史的、批判的注釋附。新版 1-3巻
アムステルダム。シヤニフレテック。イタル。1741。3巻

フランソワ・ラブレール
の作品集

オ一巻
(オ二巻)
(オ三巻)

90

Rabelais, François.
Oeuvres de maître F.R. avec des remarques historiques et
critiques de Mr. Le Duchat. Nouv. ed. Tom. 1-3. 224
Amst., Jean Frederic Bernard, 1741. 3V. 8°

OEUVRES

DE MAITRE

FRANÇOIS RABELAIS.

TOME PREMIER.
(TOME SECOND.)
(TOME TROISIEME.)

Bonar, P. 154. Rabelais (François).
Oeuvres. Nouv. ed. 3 vols. 4to, calf... 224

Who is Rabelais, and what is the nature of his life?
Tome II contains his life...

(以上エッセイ)

ボナール。154頁。ラブレール(フランソワ)
新版。3巻。か

ラブレールとは、どんな人か。彼の作品は何か
オ三巻。彼の生涯傳記を合巻

90

Rabelais, François.
Oeuvres de maître F. R., avec des remarques historiques et
critiques de Mr. Le Duchat. Nouv. ed. Tom. 1-3. 2H
Amst., Jean Frédéric Bernard, 1741. 3V. 8°

OEUVRES

DE MAITRE

FRANÇOIS RABELAIS.

TOME PREMIER.
(TOME SECOND.)
(TOME TROISIEME)

Bonar, P. 154. Rabelais (François).
Oeuvres. Nouv. ed. 3 vols. 4to, calf... Amsterd., 1741.

Who is Rabelais, and what is the nature of his works?
Tome II contains his life.

(上ルエツ 訳)

ボナール. 154頁. ラブレー(フランソワ)作品集.
新刊版. 3巻. 1741. P427994

ラブレーとは、どんな人か。彼の作品は、いかなる性質のものか。
オ三巻。彼の生涯傳記を合む。

ラブレー. フランソワ.
フランソワ・ラブレーの作品. ル・デュエ氏の
丁更的. 批判的註釋附. 新刊版. 1-3巻
P427994. フランソワ・ラブレー. 1741. 3巻

フランソワ・ラブレー
の作品集.

オ一巻
(オ二巻)
(オ三巻)

128
Tome I.

OEUVRES
DE MAITRE
FRANÇOIS RABELAIS,
AVEC DES
REMARQUES HISTORIQUES
ET
CRITIQUES
De Mr. LE DUCHAT.
NOUVELLE EDITION,
Ornée de Figures de B. PICART &C.

Augmentée de quantité de nouvelles Remarques de M. le
Duchat, de celles de l'Édition Angloise des Oeuvres
de Rabelais, de ses Lettres, & de plusieurs Pièces
curieuses & intéressantes.

TOME PREMIER.

A AMSTERDAM,
chez JEAN FREDÉRIC BERNARD.

M. DCC. XLI.

フランソワ・ラバレー 師の作品集

ル・デュシャ氏の 歴史的、批判的 解説を合
言 註解

新版

ル・デュシャ 氏の 他 著 書 等を 採 入 し
挿 絵

ル・デュシャ 氏の 新 しい 解説 と、ラバレー の 作品、各 箇
章 び 珍 趣 なる 多 くの 作品 の 英 口 版 の 解説 を 採 入 し
註 解 増 補

一 巻

アムステルダム

ジャン・フレデリック・ベルナール 社

1741年

cette
Maitre
lais
icts
LLON.
edim.
to 4

127
Tome I.

OEUVRES
DE MAITRE
FRANÇOIS RABELAIS,
AVEC DES
REMARQUES HISTORIQUES
ET
CRITIQUES
De Mr. LE DUCHAT.
NOUVELLE EDITION,
Ornée de Figures de B. PICART &C.

Augmentée de quantité de nouvelles Remarques de M. le
Duchat, de celles de l'Édition Angloise des Oeuvres
de Rabelais, de ses Lettres, & de plusieurs Pièces
curieuses & intéressantes.

TOME PREMIER.

A AMSTERDAM,
chez JEAN FREDÉRIC BERNARD.

M. DCC. XLI.

Tome I.

Avertissement du Libraire touchant cette
nouvelle Édition.

Preface.

Particularitez de la Vie et Moeurs de Maître
François Rabelais.

Les Oeuvres de Maître François Rabelais
Docteur en Médecine.

Livre Premier. Gargantua.

" Second. Pantagruel.

" Troisième. Les Faicts et Dicts
héroïques du Bon Pantagruel.

Tome II.

EPISTRE

A Monseigneur ODET, Cardinal de CHASTILLON.
François Rabelais, Médecin.

Ancien Prologue du quart Livre des faicts &
dicts héroïques du noble Pantagruel.

Nouveau Prologue du Livre IV.

Les Oeuvres.

Livre Quartième. Pantagruel.

Livre V. Pantagruel.

Pantagrueline Pronostication.

Epistre du Limousin de Pantagruel.

アラビヤ・ラブラー 師の作品集

ル・デュニヤ氏の 歴史的、批判的 ~~解説~~ ^{モ合を} _{言明}

新版

バ・ヒカ ~~の~~ ^の 其他の ~~著~~ ^著 家 ~~と~~ ^と 入り _{挿入}

~~ル・デュニヤ~~ 氏の ^の 新 ^の 解説 ^と、ラブラの作品、各箇
並 ^に 珍 ^多 なる ^の 作品 ^の 英口版 ^の 解説 ^も 挿入 ^す
_{加え} _{ある} _が _あ _る _註 _解 _増

一巻

アラビヤラブル

ジャン・フレデリック・ベルナール 社

1941年

挿入文書

オ一巻輯

この新版に肉付の刊行者の序文。

序文

万=19. ラッレー師の生涯と風格に於ての詳細。

医学博士 フランソワ・ラッレー師の作品。

オ一巻

カルガニチニワ。

オ二巻

ハニタグリユエル。

オ三巻

高貴なるハニタグリユエルの言行。

英雄の

オ二輯

~~高貴なる~~の枢機卿たるオテノ殿へ。医師フランソワ・ラッレー
ニヤケーン

高貴なるハニタグリユエルの英雄の言行のオ四巻の旧序文。

オ四巻の新序。

作品

オ四巻

ハニタグリユエル

オ五巻

ハニタグリユエル。

ハニタグリユエルの巨匠術。

ハニタグリユエルのリムサン人の因習。

挿入文書

T A B L E
DES
C H A P I T R E S

DES LIVRES I. II. & III.
Contenus dans le premier Tome.

LIVRE PREMIER.

Prologue de l'Auteur.	Pag. XXVII.
CHAP. I. De la genealogie & antiquité de Gargantua.	I
II. Les Fanfreluches antidotées trouvées en unq Monument antique.	4
III. Comment Gargantua feut onze mois porté au ventre de sa mère.	8
IV. Comment Gargamelle estant grosse de Gargantua, mangea grand planté de trippes.	12
V. Les propos des Beuveurs	13
VI. Comment Gargantua nasquit en façon bien estrange.	19
VII. Comment le nom feut imposé à Gargantua, & comment il humoit le point.	22
VIII. Comment on vestit Gargantua.	24
IX. Les cōtisseurs & livrés de Gargantua.	30
X. De ce qu'est signifié de par les couleurs blanc & bleu.	34
XI. De l'adolescence de Gargantua.	38
XII. Des Chevaux faitices de Gargantua.	40
XIII. Comment Grandgousier cogneut l'esprit merveilleux de Gargantua à l'invention d'unq torchecul.	44
XIV. Comment Gargantua feut institué par unq Sophist en Lettres Latines.	49

目次

(第一、第二、第三卷
第一輯の合計)

第一卷

作者の序詞

第一章	ガルガニャワの系譜とその由緒ある家柄について	1
第二章	一基の古き墳墓中に見出されし解毒阿呆陀羅經	4
第三章	十一月の月 ガルガニャワが母の胎内に宿つてゐたこと	8
第四章	ガルガニャワを胎内に宿したガルガマルが豚食物料理を 魚鱈復喰つたこと	11
第五章	酔拂い達が管を巻くこと	13
第六章	ガルガニャワが奇怪な相な妻を娶つたこと	19
第七章	ガルガニャワ命名の眞実未だに彼が葡萄酒を飲んだこと	22
第八章	ガルガニャワに世何なる衣裳を着せたか	24
第九章	ガルガニャワの當色紋所	30
第十章	白色と青色とは何を意味するか	34
第十一章	ガルガニャワの力年時代	38
第十二章	ガルガニャワの元頁具の馬	40
第十三章	尻を拭く如法を創り出したガルガニャワの腰巾着 頭巾の働をもクラークラジエが認めたと	44
第十四章	ガルガニャワが一人の流辯學者からラテン文を 教へられたこと	47
第十五章	ガルガニャワが地味な音節連に語られたこと	

lais,
lais,
is,
cel

序言

T A B L E
DES
C H A P I T R E S

DES LIVRES I. II. & III.
Contenus dans le premier Tome.

L I V R E P R E M I E R.

P	Prologue de l'Auteur.	Pag. xxvii.
	CHAP. I. De la genealogie & antiquité de Gargantua.	I
II.	Les Fanfreluches antidotées trouvées en ung Monument antique.	4
III.	Comment Gargantua feut onze mois porté au ventre de sa mere.	8
IV.	Comment Gargamelle estant grosse de Gargantua, mangea grand planté de trippes.	11
V.	Les propos des beuveurs	13
VI.	Comment Gargantua nasquit en façon bien estrange.	19
VII.	Comment le nom feut imposé à Gargantua, & comment il humoit le point.	22
VIII.	Comment on vestit Gargantua.	24
IX.	Les couleurs & livrés de Gargantua.	30
X.	De ce qu'est signifié de par les couleurs blanc & bleu.	34
XI.	De l'adolescence de Gargantua.	38
XII.	Des Chevaux faitices de Gargantua.	40
XIII.	Comment Grandgousier cogneut l'esprit merveillex de Gargantua à l'invention d'ung torchecul.	44
XIV.	Comment Gargantua feut institué par ung Sophist en Lettres Latines.	49

Tome II.

Avertissement du Libraire sur cette nouvelle Edition des Lettres de Rabelais, La Vie de Francois Rabelais, Les Lettres de Maître Francois Rabelais, Observations sur les Lettres de Rabelais, Jugemens de quelques Savans sur Rabelais et ses Ouvrages. Eloges de cet Auteur et Pièces Diverses. &c.

↓ 訳

ホニ註

ラッレーの書簡のニの新片反に因ちる刊行者の序言。
フランソワ・ラッレーの生涯。
フランソワ・ラッレー印の書簡。
ラッレーの書簡に因ちる考察。
ラッレーに因ちる若干の學者の判断。
(及ハ其の作品)
この作者に因ちる公頌及ハ各種作品。等々。

目次

(オ一、オ二、オ三巻)
オ一輯の合本)

オ一巻

作者の序詞

オ一章	カルガニチュワの系譜とその由緒ある家柄について	1
オ二章	一基の古き墳墓中に見出されし解毒阿呆陀羅經	4
オ三章	十一月の月 カルガニチュワが母の胎内に宿つたこと	8
オ四章	カルガニチュワを胎内に宿したカルガメルが豚肉料理を 魚鱈復喰つたこと	11
オ五章	酔拂ひ達が管を巻くこと	13
オ六章	カルガニチュワが奇怪な相を誕生させたこと	19
オ七章	カルガニチュワ命名の真意未だ、並に彼が葡萄酒を飲んだこと	22
オ八章	カルガニチュワに如何なる衣裳を着せたか	24
オ九章	カルガニチュワの當色紋所	30
オ十章	白色と青色とは何を意味するか	34
オ十一章	カルガニチュワのムカ年時代	38
オ十二章	カルガニチュワの元具の馬	40
オ十三章	尻を拭く如法を創り出したカルガニチュワの優れた 頭の働をもクラングラジエが認めたと	44
オ十四章	カルガニチュワが一人の流辯學者からラテン文学を 教へられたこと	47
オ十五章	カルガニチュワが地味な音節連に託されたこと	

挿入文書

121

XV. Comment Gargantua feut mis sous aultres Pedagogues. 64

XVI. Comment Gargantua feut envoyé à Paris, & de l'enorme fumet qui le porta, & comment elle deffait les mousches bovines de la Beauce. 56

XVII. Comment Gargantua paya sa bien-venue es Parisiens, & comment il print les grosses Cloches de l'Eglise Notre-Dame. 59

XVIII. Comment Fanotus de Bragmardo feut envoyé pour recouvrer de Gargantua les grosses Cloches. 62

XIX. La Harangue de Maistre Fanotus de Bragmardo faicte à Gargantua pour recouvrer les Cloches 63

XX. Comment le Sophiste emporta son diap, & comment il eut procez contre les aultres Maistres. 68

XXI. L'estude de Gargantua, selon la discipline de ses Precepteurs Sophistes. 74

XXII. Les Jeux de Gargantua 77

XXIII. Comment feut instituté par Ponocrates en telle discipline qu'il ne perdoit heure du jour. 90

XXIV. Comment Gargantua employoit le temps quand il l'aver estoit plurieux. 97

XXV. Comment feut meü entre les Fouaciens de Lorné, & ceulx du Pays de Gargantua le grand debat dont feurent faictes grosses guerres. 100

XXVI. Comment les habitans de Lorné, par le commandement de Picrochole leur Roy, assaillirent au despourveu les Bergiers de Gargantua. 104

XXVII. Comment unq Moyen de Seville sautra la Clos de l'Abbaye du sac des ennemis 107

XXVIII. Comment Picrochole print d'assault la Roche-Clermault, & le

初五章 カルカニケツが他の教育家達に託されたこと。 54

初六章 カルカニケツがバリの送り手と。並に彼を乗せた巨大な牝馬の話。並にこの牝馬がホースの牛車も退治した。 56

初七章 カルカニケツがパリ市民に披露目の挨拶をしたこと。並にノートルダム寺院の大釣鐘を取去ったこと。 59

初八章 大釣鐘をカルカニケツから取戻す為にはジャンヌ・ド・ブラクコルドの助けを要した。 62

初九章 釣鐘を取戻す為にはジャンヌ・ド・ブラクコルド先生がカルカニケツに向つてした演説 63

初十章 詭辯学者がその羅紗を捲き出したこと。並に他の先生方を相手に訴訟を起した。 68

初十一章 詭辯学者の先生達の監督下に於けるカルカニケツの勉強振り 74

初十二章 カルカニケツの遊戯 77

初十三章 カルカニケツがホラートに於て一日のうち一時も無駄に過ごさず規則の下に教育されたこと 90

初十四章 雨天の折にカルカニケツは時間を如何に用いたか。 97

初十五章 レルネの小麥煎餅賣とアラグリエの國の住民達との間に争論が起り、その因で大戦争が起つたこと。 100

初十六章 レルネの住民達がその王ピロコルの指揮の下にアラグリエの羊飼達の不意を襲つたこと。 104

初十七章 スイーの一修道僧が敵軍の略奪から修道院を救つたこと。 107

初十八章 ピロコル王がアラグリエを奪取し、レルネも併呑した。 107

127

regret & difficulté que fait Grandgousier d'entreprendre la guerre 112

XXIX. La teneur des Lettres que Grandgousier escrivoit à Gargantua. 114

XXX. Comment Ulrich Gallet feut envoyé devers Picrochole. 115

XXXI. La Harangue faite par Gallet à Picrochole. Ibid.

XXXII. Comment Grandgousier pour achapter paix feut rendre les foüances. 117

XXXIII. Comment certains Gouverneurs de Picrochole par conseil précipité le meirent au dernier peril. 120

XXXIV. Comment Gargantua laissa la Ville de Paris pour secourir son Pays, & comment Gymnaste rencontra les ennemis. 125

XXXV. Comment Gymnaste souplement tua la Capitain Tripet & aultres gents de Picrochole. 128

XXXVI. Comment Gargantua demolit le Chasteau du Gué de Vede, & comment ils passarent le Gué 131

XXXVII. Comment Gargantua soy pignaxt faisoit tumber de ses cheveuxx les boulets d'Artillerie. 133

XXXVIII. Comment Gargantua mangea en salade six Pelerins 136

XXXIX. Comment le Moyne feut festoyé par Gargantua & des beaux propous qu'il tint en soupant. 138

XL. Pourquoi les Moynes sont refuis du monde & pourquoi les ungs ont le nez plus grand que les aultres. 144

XLI. Comment le Moyne feut dormir Gargantua, & de ses heures & breviaire 147

XLII. Comment le Moyne donne couraige à les Compaignons, & comment il perdit à ung Arbre. 150

XLIII. Comment l'escarmouche de Picrochole feut rencontrée par Gargantua, & comment le Moyne tua le Capitaine Triavant, puis feut prisonnier entre les ennemis 152

XLIV. Comment le Moyne se deffait de ses Guardes, & comment

並に開戦前には 割 グラウジエは心残りを買て、居ながら 押寄を仕立させた。 112

第十九章. グラウジエがカルカンテウの宛に書いた 書簡の文面. 114

第二十章. ウルリックがレがピコロコルのもとへ 出立した。 115

第二十章. カルが ピコロコルに 宛てて 書いた 手紙。 116

第二十一章. グラウジエが 平和を 得んが 爲に 小麥並餅を 返却せしめた。 117

第二十三章. ピコロコル王が 数人の 顧問官達の 早計 謀慮に 由り また 大きな 危難の 道に 迫りに 付た。 120

第二十四章. カルカンテウが 故口の 難を 救はんが 爲に 都入り した。 並に シムナストが 敵軍に 遭遇した。 125

第二十五章. シムナストが 手際も 魚草の 酒杯隊長は 彼の ピコロコル 軍の 若井を 殺した。 128

第二十六章. カルカンテウ が ヲグニード 浅瀬の 城を 土に した。 並に 一同が 浅瀬を 渡した。 131

第二十七章. カルカンテウが 頭を 梳つて 髪の中から 砲彈を はらばら 落した。 133

第二十八章. カルカンテウが 4人が 共に 六人の 巡礼を 喰つた。 136

第二十九章. 修道僧 シムナストが カルカンテウに 款待した。 並に 月夜飯を 食ふが 從つて 笑論風説に 及んだ。 138

第三十章. 何か 故に 修道僧は 世間村から 正味 来るのか。 また 何か 故に この 或る 者達は 一段と 巨大なる 鼻を 具へて いるのか。 144

第三十一章. 修道僧が 時禱 月禱を 唱へて カルカンテウを 眠ら せしめた。 147

第三十二章. 修道僧が 戦友達を 殺した。 並に 立木へ 釣下 けし した。 150

第三十三章. カルカンテウが ピコロコル 軍の 小部隊と 遭遇した。 並に 修道僧が 一路 遠進し 隊長を 殺し、 次いで 自ら 敵軍に 捕ら された。 152

第三十四章. 修道僧が 見張りの 敵兵を 倒した。 並に ピコロコル 軍の 分遣隊

1278

L'escarmouche de Picrochole feut deffaiete. 155

XLV. *Comment le Moyne emmena les Pelerins, & les bonnes paroles que leur dist Grandgousier.* 156

XLVI. *Comment Grandgousier traita humainement Toucquedillon prisonnier.* 160

XLVII. *Comment Grandgousier manda querir ses Legions, & comment Toucquedillon tua Hastivreau, puis feut tué par le commandement de Picrochole.* 162

XLVIII. *Comment Gargantua assaillit Picrochole dedans la Roche Clermauld & deffait l'Armée dudit Picrochole.* 164

XLIX. *Comment Picrochole fuyant feut surprins de males fortunes, & ce que feut Gargantua après la bataille.* 166

L. *La Concion que feut Gargantua és vaincus.* 168

LI. *Comment les Vitteurs Gargantuiques feurent recompensez après la bataille.* 171

LII. *Comment Gargantua feut bastir pour le Moyne l'Abbaye de Theleme.* 172

LIII. *Comment feut bastie & dotée Abbaye des Thelemites.* 174

LIV. *Inscription mise sus la grande Porte de Theleme* 176

LV. *Comment estoit le Manoir des Thelemites* 180

LVI. *Comment estoient vestus les Religieux & les Religieuses de Theleme.* 181

LVII. *Comment estoient reglees les Thelemites à leur maniere de vivre.* 184

LVIII. *Enigme en prophetie.* 185

LIVRE SECOND

この頁は703頁、6頁、11「ラトル」未定、11
 第1113世史が、26084179

が、打負かすはなと。 155

三四五章. *か多道僧の件の巡礼共を連れ戻つたこと、並にグロウジエが懇言導をかたせつたこと。* 156

三四六章. *グロウジエが捕虜の膝病山法螺之守に情深い待遇を命じたこと。* 160

三四七章. *グロウジエがその旗下の諸軍團を召集せしめたこと、並に膝病山法螺之守が青葡萄苗之介を殺し、次いで自らヒクロコルの命をとり殺されたこと。* 162

三四八章. *カルガニエワがラ・ロシュ・クレルモ一城中にヒクロコルを捕ら、右ヒクロコルの軍勢を潰滅せしめたこと。* 164

三四九章. *ヒクロコルが逃走の途中非運に襲はれたこと、並に軍勢後カルガニエワが行った處置。* 166

三四十章. *敗残軍の兵士に向つた言はれたカルガニエワの演説。* 168

三四十一章. *戦終つて勝利を得たカルガニエワの軍人々の滯功行賞が行はれたこと。* 171

三四十二章. *カルガニエワが修道僧ジャン・ド・ガトムールの名にテレムアの僧院を建立させたこと。* 172

三四十三章. *テレムオ連の僧院は如何村に建てられ、如何なる財源を附与されたか。* 174

三四十四章. *テレムオの僧院の正門に記された碑文。* 176

三四十五章. *テレムオ連の僧院は如何なる有存であったか。* 180

三四十六章. *テレムオの僧院の男女の修道者は如何なる衣裳を身に纏はれたか。* 181

三四十七章. *テレムオ連は如何なる生活方針を定められたか。* 184

三四十八章. *後世に傳へられた歌。* 185

第二卷

8頁前24777「ルイ13世史」

(Tom. 6.) Parte I 林

HISTOIRE

DU REGNE DE

LOUIS XIII.

ROI DE FRANCE ET DE NAVARRE.

TOME SIXIEME.

Contenant ce qui est arrivé de plus remarquable en France & dans l'Europe, depuis la première expédition de ce Prince en Italie, jusques au Traité de Quierasques.

*In partibus singulis tanti operis fatigari minimè convenit...
Provideo animo, velut qui proximis littori vadis inducti
mare pedibus ingrediuntur, quidquid progredior, in vasti-
rem me altitudinem, ac velut profundum inveni, et crescere
pene opus quod prima quæque per siciendo minui videbatur.
Tit. Livius Histor. L. XXXI.*

Par Mr. MICHEL LE VASSOR.

NOUVELLE EDITION.



A. AMSTERDAM,

Chez ZACHARIE CHATELAIN.

M. D. CCXXXIV.

フランス及ナヴァールの王

ルイ十三世治下の歴史

第六巻

(*) 同
この王のイタリア遠征よりキエラスコ條約に至るまでに
フランス及びヨーロッパに起つた最も注目すべき
事を含む。

ルイ十三世のイタリア遠征の歴史は全(通史)である。
ルイ十三世のイタリア遠征の歴史は全(通史)である。
ルイ十三世のイタリア遠征の歴史は全(通史)である。
ルイ十三世のイタリア遠征の歴史は全(通史)である。
ルイ十三世のイタリア遠征の歴史は全(通史)である。
ルイ十三世のイタリア遠征の歴史は全(通史)である。
ルイ十三世のイタリア遠征の歴史は全(通史)である。
ルイ十三世のイタリア遠征の歴史は全(通史)である。

ミシェル・ル・ヴァソール氏著

新版

アムステルダム

ザカリ・シャトラン社

1734年

(林)

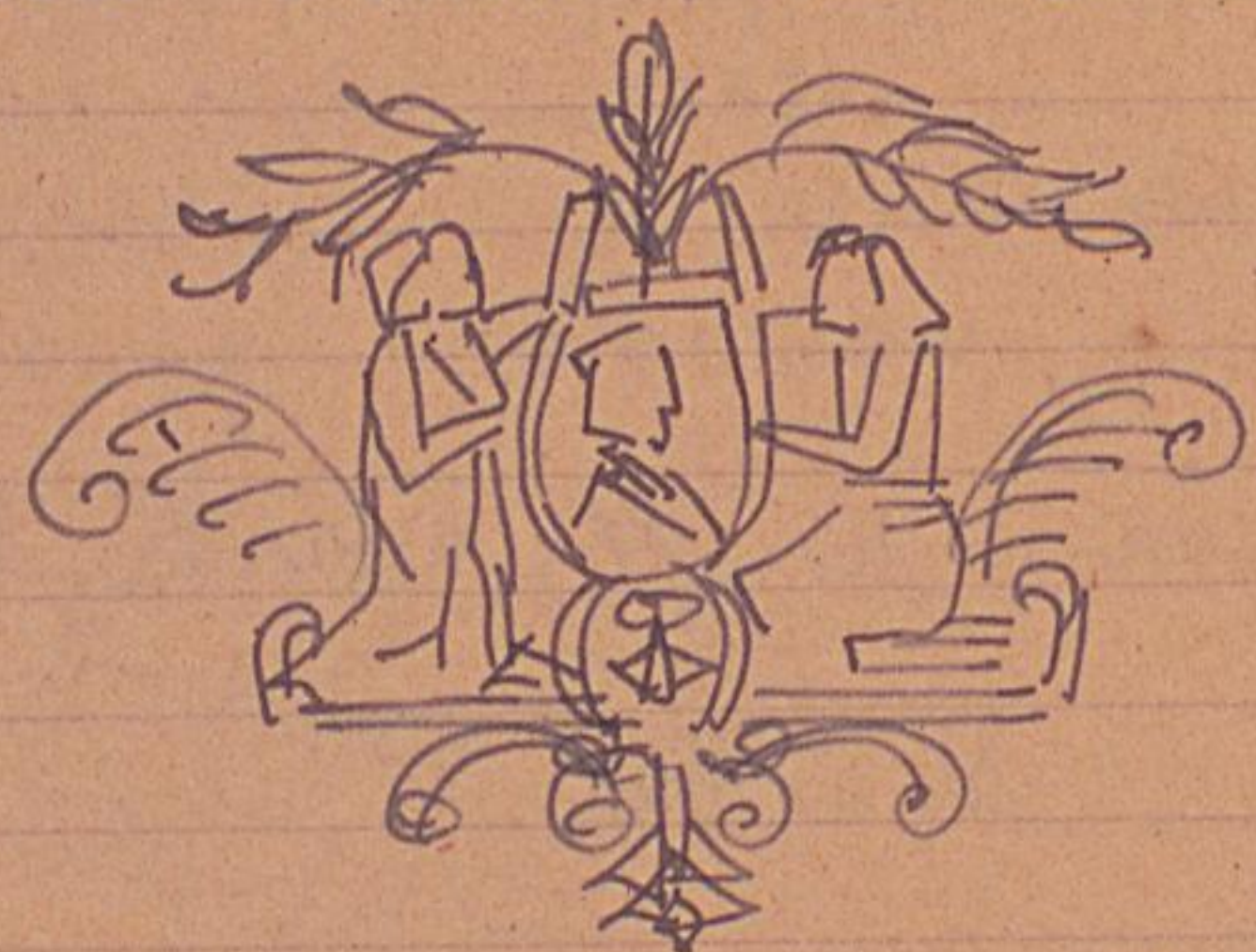
(Tom 2 - Parte 2)

HISTOIRE DU REGNE DE LOUIS XIII.

ROI DE FRANCE ET DE NAVARRE
TOME SIXIEME,
SECONDE PARTIE.

Contenant ce qui est arrivé de plus remarquable en
France & en Europe, pendant le Ministère du
Cardinal de Richelieu.

PAR
Mr. MICHEL LE VASSOR,
Nouvelle Edition revue & corrigée.



A AMSTERDAM,
Chez ZACHARIE CHATELAIN,
M.D. CCXXXIV,

フランス及びナヴァールの王

ルイ十三世治下の歴史

第六巻

第二部

リシリュウ卿内閣の間にフランス
及びヨーロッパに起つた最も注目すべき
ものを含む。

ミシェル・ル・ヴァソール 著

新改訂版

アムステルダム

ザカリー・シャトラン社

1734年

(林)
(Tom 7) ^{Parte I}

HISTOIRE

DU REGNE
DE

LOUIS XIII.

ROI DE FRANCE ET DE NAVARRE.
TOME SEPTIEME.

Contenant ce qui est arrivé de plus remarquable en France & dans l'Europe depuis la première expedition de ce Prince en Lorraine jusques à l'entière usurpation du Duché.

*Nibil arduum videbatur in animo Principis, cui non
judicium, non odium, nisi indito et jussa. Tacitus
Annalium Lib. XII.*

Par Mr. MICHEL LE VASSOR.
Nouvelle Edition revue & corrigée.



A AMSTERDAM,
Chez ZACHARIE CHATELAIN,
M DCC LI.

フランス及びナヴァール王

ルイ十三世治下の歴史

第七巻

この王のローレンス地方の第一回遠征より、公爵領の
完全奪取に到るまで、フランス及びヨーロッパに
起った最も注目すべき事を含む。

判断し増巻(180)は、命(1)の(1)は、た(1)の(1)は、
国(1)の(1)は、(1)の(1)は、
対(1)の(1)は、(1)の(1)は、
十二巻

ミシェル・ル・ヴァソール氏著
新改訂版

ハ・アマステルダム、
カリー・エムソン社
1751年

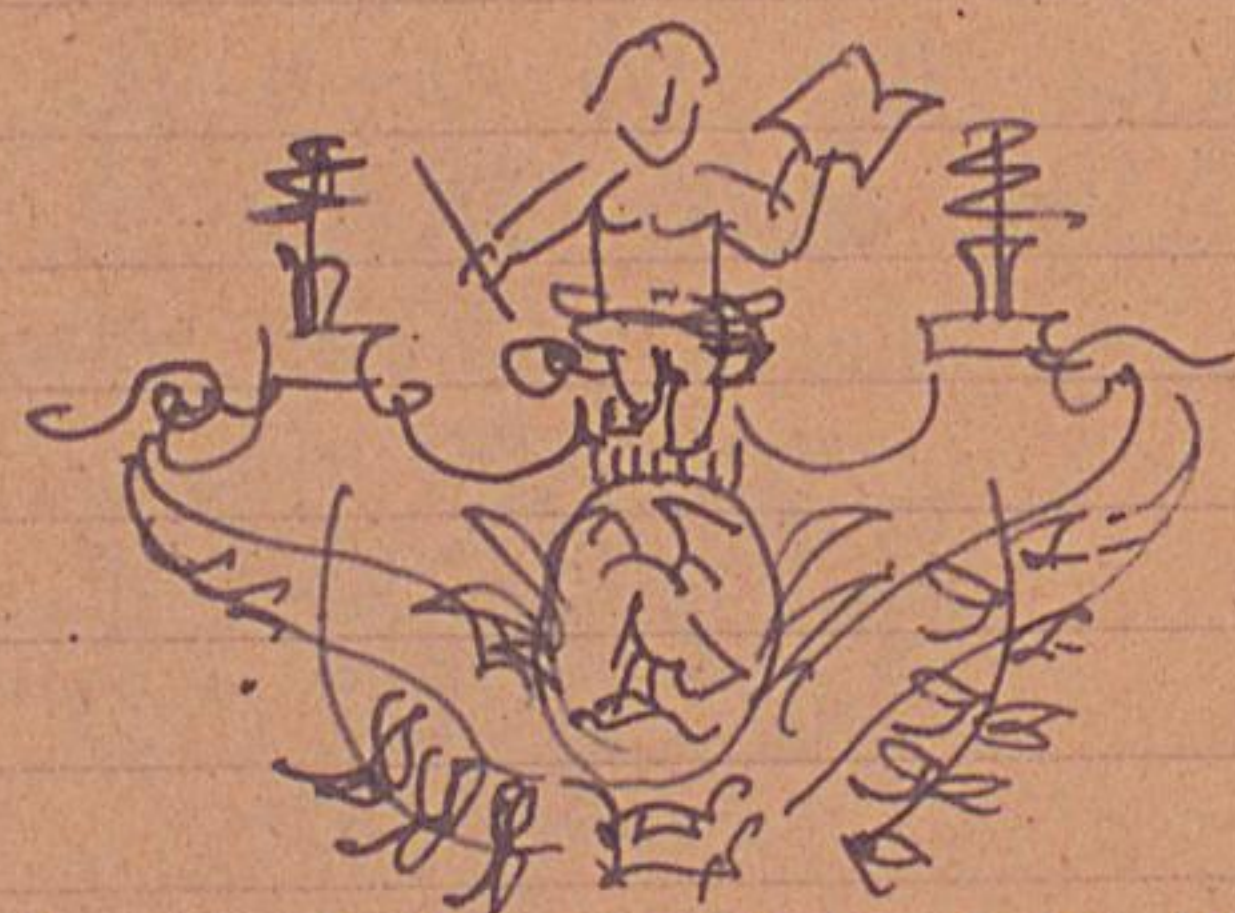
(Tom 7 - Partie II)

HISTOIRE
DU REGNE
DE
LOUIS XIII.

ROI DE FRANCE ET DE NAVARRE,
TOME SEPTIEME,
DEUXIEME PARTIE,

Contenant ce qui est arrivé de plus remarquable
en France & dans l'Europe depuis la première
expédition de ce Prince en Lorraine jus-
ques à l'entière usurpation du
Duché.

Nouvelle Edition revue & corrigée.
Par Mr. MICHEL LE VASSOR.



A AMSTERDAM,
Chez ZACHARIE CHATELAIN,
M DCC LI.

フランス及びナヴァールの王

ルイ十三世 治下の歴史

オセ巻輯

オ一部

この王のフランス地方の一回遠征の、公爵の
の完全奪取に到る間にフランス及びヨーロッパに
起つた事件は注目すべきものを含む。

新改訂版

ミシェル・ル・ヴァソール氏著

アムステルダム

ザカ
リヤトラン社

1751年

林

(Tom 8 Parte I)

HISTOIRE
DU REGNE DE
LOUIS XIII.

ROI DE FRANCE ET DE NAVARRE.
TOME HUITIEME,

Contenant ce qui est arrivé de plus remarquable en France & dans l'Europe, depuis les premiers commencements de la rupture entre les deux Couronnes, jusques à la prise de Corbie par les Espagnols.

At dum videtur res gestas scribere; primùm quod factis dicta sunt ex æquanda: dehinc, quia plerique que reprehenderis, malevolentia & invidia dicta putant. Ubi de magna virtute atque gloria bonorum memores; que sibi quisque facilia putat, & quo animo accipit; supra factu

ea, veluti ficta pro falsis ducit.

SALLUSTIUS Præfat. Belli Catilinarii.

Par Mr. MICHEL LE VASSOR.

Troisième Edition revue & corrigée.



A AMSTERDAM,

Chez ZACHARIE CHATELAIN

MDCC. XXX II.

フランス及びナヴァール王

ルイ十三世治下の歴史

オニ巻輯

エニ
= 山口向の最初の葛藤よりスเปน軍のエルベール谷に全うするにフランス及びヨーロッパに起つた戦ひを主な目撃者として

事蹟を記述するに用ゐる。その譯は、
1741年、* 大いなる困難を大いに、
このことは、
記述、
公平なるに、
その譯は、

ミリエル・ル・ヴァリエール 比著

26頁 オニ版

1732年

1732年

(本)

(Tom 8^e Part II)

HISTOIRE
DU REGNE DE
LOUIS XIII,
ROI DE FRANCE ET DE NAVARRE.

TOME HUITIEME,
SECONDE PARTIE,

Contenant ce qui est arrivé de plus remarquable
en France & dans l'Europe depuis les premiers
commencemens de la rupture entre les deux
Couronnes, jusques à la prise de Corbie par les
Espagnols.

Par Mr. MICHEL LE VASSOR.
Troisieme Edition revue & corrigée.



A AMSTERDAM,
Chez ZACHARIE CHATELAIN,
M^o. DC'XXXII.

フランス及びナヴァール国王
ルイ十三世治下の歴史

第八卷
第二部

本
= 最初の 葛藤の スパイン軍の コルビー占領に
至る間は フランス及び ヨーロッパに 起つた 戦争の 経過
を 詳述 する

ミシェル・ル・ヴァッソー 氏 著

第三版

アムステルダム

ザカリー・シャタラン 社

1732年

(Tom 9, Parte I)

HISTOIRE

DU REGNE DE
LOUIS XIII.

ROI DE FRANCE ET DE NAVARRE.

TOME NEUVIEME.

Contenants la Naissance de Louis XIV. & ce qui est arrivé de plus remarquable en France & dans l'Europe, depuis les Espagnols chassés de Corbie jusques au passage de l'Armée Française au delà du Rhin, pour joindre celle de Suède, c'est-à-dire, jusques à l'an 1640.

*Cogita qua tempora aggrediamur. Vetera & scripta aliis?
Parata inquisitio, sed onerosa collatio. Intacta ex nova?
Graves offensae, levis gratia. Non praeter id quod in tantis vitiis plura culpanda sunt, quam laudanda; tum si laudaveris, parcus; si culpaveris, nimius fuisse dicaris, quam vis illud plenissimè, hoc restrictissimè fecerit.*

Plinius Junior Epistola ad Cornelium Tacitum.

Par Mr. MICHEL LE VASSOR.

NOUVELLE EDITION.



A AMSTERDAM,

Chez ZACHARIE CHATELAIN,
M. D. CCXXXV.

フランス及びナヴァール王

ルイ十三世 治下の歴史

第九巻 終

ルイ十三世の御世の事
スウェーデン軍のユルビニ退去より、ライン川の対岸に於て
フランス軍とスウェーデン軍の合戦。すなわち
1640年 2月 1日。フランス及びナヴァールに起つた事
注目すべきものを余が

我々の世に於ては、人々の時を去り、他人の事(5)に
審問も亦、論議もせず。
攻め敗れ、罰もなし。愚者を輕んじ、何れもは、(1)に不器用
(2)に不器用、(3)に不器用、(4)に不器用、(5)に不器用、
(6)に不器用、(7)に不器用、(8)に不器用、(9)に不器用、
行つた。1640年、あつた。1640年、あつた。

ヨハン・ヨハン・ヨハン・ヨハン・ヨハン

出版

シエル・ル・ウァソール氏著

新版

アムステルダム

チャトラン社

1735年

(Tom 9, Part I)

HISTOIRE

DU REGNE DE
LOUIS XIII.

ROI DE FRANCE ET DE NAVARRE.

TOME NEUVIEME.

Contenants la Naissance de Louis XIV. & ce qui est arrivé de plus remarquable en France & dans l'Europe, depuis les Espagnols chassés de Corbie jusques au passage de l'Armée Française au delà du Rhin pour joindre celle de Suède, c'est-à-dire, jusques à l'an 1640. *RMT*

⊙ Cogita qua tempora aggrediamur. Vetera & scripta aliis?
⊙ Parata inquisitio, sed onerosa collatio. Intacta & nova?
⊙ Graves offensae, levis gratia. Nam praeter id quod in tantis vitiis plura culpanda sunt, quam laudanda; tum si laudaveris, parcus; si culpaveris, nimius fuisse dicaris, quam vis illud plenissimè, hoc restrictissimè fecerit.

Plinius Junior Epistola ad Cornelium Tacitum.

Par Mr. MICHEL LE VASSOR.

NOUVELLE EDITION.



A AMSTERDAM,

Chez ZACHARIE CHATELAIN.

M.D. CCXXXV.

フランス及びナウール王

ルイ十三世 治下の歴史

第九巻 終

ルイ十四世の即位後
 スウェーデン軍のコレビエ退去より、ライヘンの対岸に於て
 渡ったフランス軍隊とスウェーデン軍隊との合戦、すなわち
 1640年 2月1日、フランス及びヨーロッパに起つた戦い
 注目すべきものを合戦
 我々の軍は、人々接する時、他人の軍に勝つた
 容問は、海軍に任せ、
 攻め敗れた、國を輕んじ、何いかな、いかに不慮に
 罪を犯す、許さぬ、
 罪を犯す、罰を科す、
 行ふ、
 4. 1735年、コレビエ、リッパス、4紙

出版

シエル・ル・ウァリール氏著

新版

アムステルダム

ハリー・シャトラン社

1735年

挿入文書

